

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人 慶應義塾  
理事長 清家 寛

慶應義塾大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 21 年度業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	84 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	649人	61人	661.8人	看護補助者	115人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	21人	12人	24.6人	理学療法士	13人	臨床検査技師	131人
薬剤師	101人	2人	102.4人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	15人	その他	0人
助産師	32人	0人	32人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	993人	15人	1002.7人	臨床工学技士	23人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	7人	0人	7人	栄養士	15人	その他の技術員	38人
歯科衛生士	4人	0人	4人	歯科技工士	3人	事務職員	213人
管理栄養士	22人	0人	22人	診療放射線技師	66人	その他の職員	39人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	911人	7人	918人
1日当たり平均外来患者数	2,854人	179人	3,033人
1日当たり平均調剤数	5,537剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。





高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	75人	・膿疱性乾癬	3人
・多発性硬化症	70人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・重症筋無力症	122人	・原発性胆汁性肝硬変	45人
・全身性エリテマトーデス	371人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	7人	・特発性大腿骨頭壊死症	41人
・再生不良性貧血	35人	・混合性結合組織病	42人
・サルコイドーシス	53人	・原発性免疫不全症候群	9人
・筋萎縮性側索硬化症	20人	・特発性間質性肺炎	16人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	237人	・網膜色素変性症	66人
・特発性血小板減少性紫斑病	109人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	23人	・肺動脈性肺高血圧症	49人
・潰瘍性大腸炎	867人	・神経線維腫症	27人
・大動脈炎症候群	45人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	20人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	108人	・慢性血栓性肺高血圧症	28人
・脊髄小脳変性症	40人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	409人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	14人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	224人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	6人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	31人
・後縦靭帯骨化症	53人	・肥大型心筋症	4人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	35人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	11人	・リンパ管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	60人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	35人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	9人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、 先端巨大症、下垂体機能低下症)	19人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る)	・
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定及び転移の検索	・
・強度変調放射線治療	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週1回
部 検 の 状 況	部検症例数 62例 / 部検率 15.70%

## (様式第 12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 武田 純三
管理担当者氏名	医療事務室 清水 憲吾 総務担当次長 朝倉 崇 薬剤部次長 河村 俊一

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療事務室 (中央病歴室)	外来診療録は、一患者一番号、各科ファイル。電算機により集中管理しており効率的に管理するため、アクティブカルテとインアクティブにウ別して管理している。入院診療録は、年度別連番を付与し管理している。レントゲンフィルムは、電子媒体にて保存している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	医療事務室	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究支援センター本部	
	高度の医療の研修の実績	研究支センター本部	
	閲覧実績	医療事務室 (中央病歴室)	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携室	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療事務室 薬剤部		
第規一則号第一に掲げる十の体制第一項各号の状況及び第九條の二十	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御センター	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室	

	三 第 一 項 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	庶務課
--	--	-----

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則 第一 条の 十一	院内感染のための指針の策定状況	感染制御センター
	第一 条の 十一	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御センター
	第一 項各 号及 び第 九条 の二 十三	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御センター
	第一 項各 号及 び第 九条 の二 十三	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御センター
	第一 項各 号及 び第 九条 の二 十三	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第一 項各 号及 び第 九条 の二 十三	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第一 項各 号及 び第 九条 の二 十三	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第一 項各 号及 び第 九条 の二 十三	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第一 項各 号及 び第 九条 の二 十三	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医用工学センター
	第一 項各 号及 び第 九条 の二 十三	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医用工学センター・中央放射線技術室
第一 項各 号及 び第 九条 の二 十三	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医用工学センター・中央放射線技術室	
第一 項各 号及 び第 九条 の二 十三	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医用工学センター・中央放射線技術室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容：医療安全管理体制の確立、医療安全管理のための具体的方策および医療事故発生時の対応方法等について、指針を示すことにより適切な医療安全管理を推進し、安全な医療の提供に資すること	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 11 回
・ 活動の主な内容：院内安全対策委員会（8月を除き毎月1回）	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	定例年 4回 臨時年 5回
・ 研修の主な内容：院内安全対策セミナー、全教職員対象（定例開催 6月、9月、10月、11月） （臨時開催 4月、10月、11月2回、3月）  注）参加できなかった教職員のために別途、録画CDを上映（CD視聴会）し、機会を設けている。定例年3回（7月、12月、2月）、臨時年1回（3月）	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ワーキンググループによる医療安全対策・策定・実施 ○呼吸管理 ○侵襲的処置（血管内・血管外） ○身体抑制 ○薬剤に関する医療安全検討委員会（小委員会） ・ 持参薬 WG ・ 院外薬局からの照会対応WG ・ 様尿病治療薬の安全使用に関するWG ・ 内視鏡検査・治療時のワーファリンと抗血小板薬の休薬に関する指針WG	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（ 2名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 3名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員：専任（ 6）名 兼任（ 3）名 ・ 活動の主な内容：医療安全管理部門の業務指針および医療安全管理者業務に関する申し合わせに準じて、業務を遂行。 教職員への安全管理に関する教育・指導（研修会の開催）ならびに検証 安全対策の企画・立案、医療事故（重大）発生時の対応、裁判外紛争処理等 院内安全対策委員会・安全管理に関わる小委員会の事務局	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>① 院内感染対策に関する基本的な考え方                  ② 感染制御センターの設置                  ③ 感染対策運営委員会および感染専門委員会の設置                  ④ 職員研修</p> <p>⑤ 院内感染状況の報告                  ⑥ 院内感染発生時の対応                  ⑦ 患者への情報提供と説明                  ⑧ 病院における院内感染対策の推進</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年19回
<p>・ 活動の主な内容：感染対策運営委員会（月1回、年12回開催）                  感染専門委員会（隔月、年6回および臨時開催）</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年6回
<p>・ 研修の主な内容：院内感染対策講習会：全教職員対象（7月、9月、10月（2回）、11月、3月）                  注）参加できなかった教職員のために別途、録画CDを上映（CD視聴会）し、                  機会を設けている。年3回（7月、12月、2月）                  院内における感染症・耐性菌など発生状況、感染対策の基本・防護具の使用                  インフルエンザ対策、抗菌薬の適正使用、手術部位感染対策など</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無）                  ・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>① サーベイランス：耐性菌、抗酸菌、ICU、NICU、デバイス、SSI、血液培養、アスペルギルス、                  血液暴露</p> <p>② ラウンド：血液培養陽性患者・耐性菌検出患者（毎日）                  抗菌薬適正使用（週1回）                  病棟・外来・その他の施設環境（週1回）                  スタンダードプリコーション・職員意識調査（年数回）</p>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6回
・ 研修の主な内容：資料 1	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 手順書に基づく業務の実施状況の直近の確認日：平成22年6月15日 主に外来診察室及び病棟、薬剤部における医師、看護師、薬剤師などに対して手順書の管理状況と手順書に基づく業務の実施の確認	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 資料 2、資料 3 参照	

## 医薬品に係る安全管理のための体制

医薬品の安全使用のための研修の実施状況

- 平成 21 年 3 月 看護師注射点滴調製研修  
薬剤の基礎知識と管理を含めた講義と演習
- 平成 21 年 3 月 研修医・専修医オーダーリングトレーニング  
内・外用薬処方入力、注射点滴処方入力、検査・画像オーダ入力など
- 平成 21 年 4 月 研修医注射点滴調製研修  
処方入力時の注意と点滴調製の手技
- 平成 21 年 6 月 院内安全対策セミナー  
医薬品の安全使用に向けて  
—ヒヤリ・ハット事例を中心に—
- 平成 21 年 7 月 感染対策講習会  
医療従事者が知っておきたい抗菌薬の基礎知識
- 
- 平成 22 年 3 月 看護師注射点滴調製研修（参加人数：89 名）  
薬剤の基礎知識と管理を含めた講義と演習
- 平成 22 年 3 月 研修医・専修医オーダーリングトレーニング（参加人数：70 名）  
内・外用薬処方入力、注射点滴処方入力、検査・画像オーダ入力など
- 平成 22 年 3 月 感染対策講習会（参加人数：175 名）  
抗菌薬の適正使用
- 平成 22 年 4 月 研修医注射点滴調製研修（参加人数：36 名）  
処方入力時の注意と点滴調製の手技
- 平成 22 年 6 月 院内安全対策セミナー（参加人数：588 名）  
医薬品の安全使用に向けて  
—ヒヤリ・ハット事例を中心に—

## 医薬品に係る安全管理のための体制

□ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施

### 医薬品に係る添付文書等の収集

#### 【収集情報を具体的に記入】

- ・ 添付文書、インタビューフォーム、「使用上の注意」の解説、製品情報概要、患者・医療者向け説明書等関連資料は、採用時より収集し、専用の薬剤別ファイルに保管している。
- ・ 改訂があった場合には、改訂案内とともに必要部数を提供するよう、各メーカーには依頼している。
- ・ 医薬品卸会社提供の情報サービスにより更新情報を入手し、改訂された資料が届いているかをチェックしている。また、同内容を薬剤部員へメール配信している。更に年に1回各社に更新されたものを提供するよう、依頼している。

### 得られた情報のうち必要なものについて医薬品を取り扱う職員に対しての周知

#### 【周知方法を具体的に記入】

- ・ 医薬品機構より入手した「使用上の注意改訂指示」、「DSU」、「医薬品医療機器等安全性情報」について、院内採用薬の商品名を併記して各診療科の薬事委員宛にメールでお知らせしている。「医薬品医療機器等安全性情報」については更に院内のオンライン掲示板及びイントラネットのWebページに掲載している。また、薬剤部職員にも同様にメール配信を行っている。
- ・ 必要に応じて、全部署・全診療科に向けたインフォメーションを発出し、院内のオンライン掲示板並びにイントラネットのWebページに掲載し、同時に薬事委員並びに薬剤部員へメール配信している。
- ・ 特に安全面に於いて影響が大きいと思われるものについては、個別に診療科の薬事委員または専門医に電話またはメールにて連絡をとり、更に薬剤部職員へ周知している。場合によっては処方患者を同定の上、連絡している。

## 医薬品に係る安全管理のための体制

□その他（病院独自で取り組んでいる内容）

### <内外用薬>

#### 【処方入力における対策】

- ・ 散剤の入力を力価（成分量）に統一。
- ・ 規格が複数ある薬剤に関しては「グループ登録」を行い、医師がオーダー入力時に薬剤名の表示色を反転させ、注意を喚起している。

#### 【調剤における対策】

- ・ ハイリスク薬（糖尿病（内服・インスリン）、抗がん剤、ワルファリン製剤、ジゴキシン製剤、テオフィリン製剤、抗血小板製剤：全 85 薬品）に関しては、バーコードを用いた認証システムを用いて調剤を行っている。
- ・ ハイリスク薬が処方された場合、処方せんに前回処方内容および過去 1 ヶ月の処方歴が印字させる鑑査支援システムを構築している。

### <注射薬>

#### 【処方入力における対策】

##### （抗がん剤）

- ・ 抗がん剤すべてプロトコル単位でのみ入力が可能、そのプロトコルは診療科申請後、レジメン検討委員会の審査に通らないと使用ができない。
- ・ 一般注射（抗がん剤以外）の入力画面とは異なる画面を使用しなければならない。

##### （一般注射）

- ・ 処方入力時に各薬剤特有の注意情報が画面に展開される、また投与量、投与方法についても適正に処方されていない場合はエラー表示がでる。

#### 【調剤・調製における対策】

- ・ 小児 3 病棟についてはすべての注射薬、ICU は 250mL 以上、その他一般病棟においては 500mL 以上の Rp. の混合調製を行っている。
- ・ 個人別取り揃えの鑑査には厚労省が薦めている医療安全を目的とした医薬品バーコードを用いて、部門システムによるバーコード認証を行っている。
- ・ 調製後の鑑査、調製済薬剤の患者確認など部門システムで印字させたバーコードを用いて認証している。

### <その他>

- ・ 部門システム導入により、従来不可能であった内外用薬処方せんと注射処方せんにまたがる併用禁忌のチェックが処方せん出力時にできるようになった。

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 14回
研修の主な内容： 全従業者を対象として助細動器 特定の従業者を対象として：人工心肺装置及び補助循環装置 人工呼吸器 血液浄化装置 閉鎖式保育器 診療用高エネルギー放射線発生装置 診療用放射線照射装置	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有 無) ・ 保守点検の主な内容： 臨床工学士による定期点検：除細動器 メーカーによる定期点検：人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置 閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 医療機器に関するインシデント報告の内容分析 (原因と対策) (2) 分析結果の周知 (3) 医薬品医療機器総合機構 (Pmda) 及び日本医療機能評価機構からの安全性情報の周知 (4) 医療機器メーカーからの安全性情報の周知	

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務局長 原 邦夫
閲覧担当者氏名	医療事務室長 清水 憲吾 医療事務室課長 山本 慎一 総務担当次長 朝倉 崇
閲覧の求めに応じる場所	

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	66.1%	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	22,442人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16,468人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	5,525人	
	D: 初診の患者の数	50,718人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
別紙				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委

計 601

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別紙			

計139

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

### 【論文発表等の実績】

雑誌名 巻 号 頁 発行年	題 名	発表者氏名	所属部門
産業新潮 2009	iPS細胞・ES細胞技術と再生医療の今	八代嘉美	総合医科学研究センター
学術の動向 8月号 14 8 2009 24-29	神経幹細胞を用いた再生医療の現状と課題	八代嘉美 他	総合医科学研究センター
メディカルサイエンスダイジェスト 10月増刊号 2009	iPS細胞研究の最新の進展	八代嘉美	総合医科学研究センター
Mol. Psychiatry 14 2 2009 206-222	Amyloid-beta causes memory impairment by disturbing the JAK2/STAT3 axis in hippocampal neurons.	千葉知宏	解剖学
ブレインサイエンス・レビュー 2009 (ブレインサイエンス振興財団 伊藤正男・川合述史 編) 2009 207-232	発生期大脳皮質における移動神経細胞のダイナミクス	仲嶋一範	解剖学
Cereb. Cortex 2009	Differences of migratory behavior between direct progeny of apical progenitors and basal progenitors in the developing cerebral cortex.	仲嶋一範	解剖学
Dev. Biol. 2009	The transcriptional repressor RP58 is crucial for proper cell-division patterning and neuronal survival in the developing cortex.	仲嶋一範	解剖学
J. Neurosci. 29 34 2009 10653-10662	Downregulation of functional Reelin receptors in projection neurons implies that primary Reelin action occurs at early/pre-migratory stages.	仲嶋一範 他	解剖学
Cardiovasc Res 85 3 2009 484-493	S1P3-mediated cardiac fibrosis in sphingosine kinase 1 transgenic mice involves reactive oxygen species.	石井功 他	医化学
J Lipid Res 50 3 2009	Sphingosine 1-phosphate regulates regeneration and fibrosis after liver injury via sphingosine 1-phosphate receptor 2.	石井功 他	医化学

556-564					
Ann Rheum Dis 68 6 2009 1051-1058	Hyaluronan inhibits expression of ADAMTS4 (aggrecanase-1) in human osteoarthritic chondrocytes.	木村徳宏	他	病理学	
J Immunol 183 4 2009 2397-2406	IL-27 abrogates receptor activator of NF-kappa B ligand-mediated osteoclastogenesis of human granulocyte-macrophage colony-forming unit cells through STAT1-dependent inhibition of c-Fos.	木村徳宏	他	病理学	
Endocrinology 150 11 2009 4823-4834	Accelerated cartilage resorption by chondroclasts during bone fracture healing in osteoprotegerin-deficient mice.	木村徳宏	他	病理学	
Pathol Res Pract 206 2 2010 116-120	Extensive endobronchial growth of metastatic hepatocellular carcinoma resulting in respiratory failure: A case report.	木村徳宏	他	病理学	
J Clin Invest 120 2 2010 408-421	Heart failure causes cholinergic transdifferentiation of cardiac sympathetic nerves via gp130-signaling cytokines in rodents.	木村徳宏	他	病理学	
医学のあゆみ 228 8 2009 849-854	医療関連死の問題における法医学的視点の役割-どのように貢献できるか、なぜ臨床医にはなじみにくいのか。	藤田眞幸		法医学	
J. Biol. Chem. 284 21 2009 14637-14644	Bidirectional signaling through ephrinA2-EphA2 enhances osteoclastogenesis and suppresses osteoblastogenesis	松尾光一	他	共同利用研究室	
J. Immunol 183 3 2009 1862-1870	The Mechanism of Osteoclast Differentiation Induced by IL-1	松尾光一	他	共同利用研究室	
J. Immunol 183 4 2009 2397-2406	IL-27 abrogates receptor activator of NF- $\kappa$ B ligand-mediated osteoclastogenesis of human granulocyte-macrophage colony-forming unit cells through STAT1-dependent inhibition of c-Fos	松尾光一	他	共同利用研究室	
J. Bone Miner. Res 24 12 2009 2056-2065	Fra-1/AP-1 impairs inflammatory responses and chondrogenesis in fracture healing	松尾光一	他	共同利用研究室	
J. Immunol 184 2 2010 1014-1021	Fos proteins suppress dextran sulfate sodium-induced colitis through inhibition of NF- $\kappa$ B	松尾光一	他	共同利用研究室	

心臓	41		2009	急性心不全治療と長期予後-心腎保護とそのメカニズム-	安斉俊久		内科学 (循環器)
	484-487						
DITN	373	4	2009	糖尿病患者と骨折-チアゾリジン誘導体と骨折との関係についてご教示ください-	河合俊英		内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
	8-8						
Diabetes	58[Suppl]		2009	FOXP3/Scurfin gene polymorphism associated with female Japanese type1 diabetic patients	河合俊英	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
	A590						
臨床と研究	86	6	2009	私の診療経験から-メタボリックシンドロームの管理-メタボリックドミノからのアプローチ	河合俊英	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
	793-797						
Diabetes	58		2009	Genetic variation in Perilipin (PLIN) affects glucose tolerance in women with and without Polycystic ovary syndrome	河合俊英	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
[Suppl]	A307						
Diabetes	58[Suppl]		2009	Palmitate rich diet suppresses glucose-stimulated insulin secretion (GSIS) via endoplasmic reticulum (ER) stress in mice	河合俊英	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
	A624						
The Review of Diabetic Studies	6	2	2009	The Role of the CXCL10/CXCR3 System in Type 1 Diabetes.	及川洋一	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
	81-84						
医学のあゆみ	228	10	2009	糖尿病・メタボリック症候群における抗血小板薬の意義	河合俊英	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
	990-993						
Diabetes Res Clin Pract	86		2009	MCP-1 gene A-2518G polymorphism and carotid artery atherosclerosis in patients with type 2 diabetes	河合俊英	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
	193-198						
Diabetes Res Clin Pract	86		2009	Variation in the perilipin gene (PLIN) affects glucose and lipid metabolism in non-Hispanic white women with and without polycystic ovary syndrome	河合俊英	他	内科学 (腎臓・内分泌・代謝)
	186-192						
Medico	40	03	2009	抗血栓療法をめぐって 抗血小板薬	横山健次		内科学 (血液)
	79-82						
Leukemia & Lymphoma				Administration of imatinib mesylate in patients with chronic myeloid leukemia with short bowel.	森毅彦	他	内科学 (血液)

50	04	2009				
	670-672					
Heart View						
13	04	2009	「日常診療で活かす最新のエビデンス」治す循環器疾患に関する大規模臨床試験 抗血小板療法	横山健次	他	内科学 (血液)
	79-82					
臨床皮膚科						
63	06	2009	リンパ節にサルコイド反応がみられた全身性形質細胞増多症の1例	横山健次	他	内科学 (血液)
	385-388					
血液フロンティア						
19	06	2009	ITP に対する トロンボポエチン受容体作動薬	宮川義隆		内科学 (血液)
	73-81					
Transplant Proc.						
41	05	2009	Interindividual variation of maximal blood levels of tacrolimus after its oral administration in hematopoietic cell transplant recipients.	森毅彦	他	内科学 (血液)
	1831-1833					
Transplant Infectious Disease						
11	05	2009	Primary central nervous system post-transplant lymphoproliferative disorder presenting as cerebral hemorrhage after unrelated bone marrow transplantation.	森毅彦	他	内科学 (血液)
	438-441					
Transplant Infectious Disease						
11	06	2009	Transmission of chromosomally integrated human herpesvirus 6 (HHV-6) variant A from a parent to children leading to misdiagnosis of active HHV-6 infection.	森毅彦	他	内科学 (血液)
	503-506					
J Thromb Haemost						
7	1	2009	Development of thrombopoietin receptor agonists for clinical use.	宮川義隆	他	内科学 (血液)
	239-244					
International Journal of Hematology						
90	01	2009	Drug interaction between oral solution itraconazole and calcineurin inhibitors in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation recipients: an association with bioavailability of oral solution itraconazole.	森毅彦	他	内科学 (血液)
	103-107					
Intern Med						
48	16	2009	Primary diffuse large B-cell lymphoma of the bladder.	宮川義隆	他	内科学 (血液)
	1403-1406					
内科						
104	02	2009	造血幹細胞移植の臨床成績向上のために一移植の「多様性」への挑戦。	森毅彦		内科学 (血液)
	331-340					
臨床検査						
53	11	2009	易感染患者用病室 (無菌病室) における感染制御。	森毅彦		内科学 (血液)
	1309-1312					

臨床検査							
53	10	2009	「血栓症のリスク因子」高感度 D-ダイマー	横山健次			内科学 (血液)
	1129-1132						
International Thrombosis	Review of						
4	4	2009	トロンボポエチン受容体作動薬	宮川義隆			内科学 (血液)
	50-52						
Heart View							
13	13	2009	選択的抗トロンピン薬、抗 Xa 薬では INR の計測は不要になる？	横山健次			内科学 (血液)
	1364-1367						
感染・炎症・免疫							
39	04	2010	多発性骨髄腫に対するサリドマイド治療	塚田唯子	他		内科学 (血液)
	107-109						
臨床検査							
54	03	2010	本態性血小板血症	宮川義隆			内科学 (血液)
	255-260						
Cleft Palate Craniofac J							
18	1	2009	A Biomechanical Study on the Effect of Premature Fusion of the Frontosphenoidal Suture on Orbit Asymmetry in Unilateral Coronal Synostosis	宮本純平	他		形成外科学
Auris Nasus Larynx							
36	4	2009	Inferior meatal antrostomy impairs dynamic stability of the orbital walls	宮本純平	他		形成外科学
	431-437						
J Plast Reconstr Aesthet Surg							
62	9	2009	A rare case of congenital unilateral hypoplasia of the nose	宮本純平	他		形成外科学
	e305-308						
J Craniomaxillofac Surg							
37	6	2009	Refined simple line closure for macrostomia repair: designing a mucosal triangular flap on the commissure region	宮本純平	他		形成外科学
	341-343						
Acta Neurochir (Wien)							
27		2009	Capsules can replace the dura mater after cranial infection	宮本純平	他		形成外科学
Plast Reconstr Surg							
124	6	2009	Biomechanical Analysis of Stresses Occurring in Vertical and Transverse Scars on the Lower Leg	宮本純平	他		形成外科学
	1974-79						
Scand J Plast Reconstr Surg Hand Surg							
43	5	2009	Combined fixation with plates and transmalar Kirschner wires for zygomatic fractures	宮本純平	他		形成外科学

270-278					
Brain & Development					
31	7	2009	Genetic Regulation of Proliferation/Differentiation Characteristics of Neural Progenitor Cells in the Developing Neocortex.	三橋隆行	小児科学
	553-557				
産科と婦人科					
76	6	2009	不妊症の診断	橋場剛士	産婦人科学
	661-666				
産科と婦人科 増刊号 産婦人科手術療法マニュアル					
76	増刊	2009	III.内視鏡下手術 8.卵管鏡下卵管形成術	末岡浩	産婦人科学 (産科)
	289-294				
臨床婦人科産科					
63	4 増大	2009	今月の臨床 ここが聞きたいー不妊・不育症診療ベストプラクティス II 不妊の治療 D 生殖補助医療 (ART) [着床前診断] 86. 着床前診断適応と生検法のコツについて教えてください	末岡浩	産婦人科学 (産科)
	600-603				
ファルマ メディカ					
27	5	2009	特集 生殖医療最前線 着床前遺伝子診断	末岡浩	産婦人科学 (産科)
	51-55				
小児内科					
41	6	2009	特集 染色体検査でどこまでわかるか 染色体異常症の着床前診断ー欧米とわが国における現状	末岡浩	産婦人科学 (産科)
	936-940				
医学のあゆみ					
229	13	2009	Topics 産科学・婦人科学 生殖医療における凍結保存技術の臨床応用	末岡浩	産婦人科学 (産科)
	1224-1225				
内科 臨床雑誌					
104	2	2009	特集 造血幹細胞移植の多様性に迫る一質の高い治癒を目指したアプローチ <造血幹細胞移植後合併症へのアプローチ> 造血幹細胞移植後の女性の QOL 対策	末岡浩	産婦人科学 (産科)
	310-315				
産婦人科の実際 不妊治療ハンドブック					
58	11	2009	非配偶者間人工授精	末岡浩	産婦人科学 (産科)
	1747-1752				
日本産科婦人科学会雑誌					
61	11	2009	日本産科婦人科学会 研修コーナー E. 婦人科疾患の診断・治療・管理. 10. 8)卵管鏡	末岡浩	産婦人科学 (産科)
	N-580-N-584				
産婦人科の実際					
59	3	2010	特集 産婦人科診療~pros and cons~生殖卵管病変への対応ーART か、内視鏡治療かー	末岡浩	産婦人科学 (産科)
	409-414				

日本受精着床学会雑誌	27	1	2010	着床前遺伝子診断における新鮮胚移植と凍結胚移植の妊娠率の検討	末岡浩		産婦人科学 (産科)
				362-364			
日本受精着床学会雑誌	27	1	2010	Whole genome amplification法とMLPA法を組み合わせた、着床前期胚におけるゲノムワイドな相対コピー数解析法の開発	末岡浩		産婦人科学 (産科)
				365-368			
Japanese Journal of Endourology and ESWL	22	1	2009	若い泌尿器科医を対象とした鏡視下手術手技向上の試み	宮嶋哲		泌尿器科学
				53-58			
Reviews on Recent Clinical Trials	4		2009	Angiotensin II type 1 receptor antagonist as an angiogenic inhibitor in urogenital cancer.	宮嶋哲		泌尿器科学
J Urol	181		2009	Preoperative prognostic nomogram (probability table) for renal cell carcinoma based on TNM classification.	宮嶋哲		泌尿器科学
				480-485			
Urology			2009	Renal damage is inhibited in mice lacking the angiotensinogen gene subjected to unilateral ureteral obstruction.	宮嶋哲		泌尿器科学
Prostate	70	2	2010	Ets-1 and hypoxia inducible factor-1alpha inhibition by angiotensin II type-1 receptor blockade in hormone-refractory prostate cancer.	宮嶋哲	他	泌尿器科学
				162-9			
Urology			2010	How do young residents practice laparoscopic surgical skills?	宮嶋哲	他	泌尿器科学
Monthly Book Medical Rehabilitation	106		2009	痛みや運動麻痺がみられる精神疾患	嶋田博之		精神・神経科学
				24-28			
Clin Pharmacol Therapeutics			2009	Predicting Age-Specific Dosing of Antipsychotics	内田裕之	他	精神・神経科学
J ECT			2009	Impacts of Switching Antidepressants Following Successful Electroconvulsive Therapy on the Maintenance of Clinical Remission in Patients with Treatment-Resistant Depression: A Chart Review	内田裕之		精神・神経科学
BMC Medical Imaging			2009	Test-Retest Variability of High Resolution Positron Emission Tomography (PET) Imaging of Cortical Serotonin (5HT2A) Receptors in Older, Healthy Adults	内田裕之	他	精神・神経科学

J Clin Psychiatry	2009	Selective Serotonin Reuptake Inhibitor-Induced Spermatorrhea	内田裕之	他 精神・神経科学
Therapeutic Drug Monitoring	31 2009 360-366	Clozapine Exposure and the Impact of Smoking and Gender: A Population Pharmacokinetic Study	内田裕之	他 精神・神経科学
Schizophr Res	109 2009 130-133	Long-term Stability of Measuring D2 receptors in Medicated Patients with Schizophrenia	内田裕之	他 精神・神経科学
Psychiatry and Clinical Neuroscience	63 2009 244-246	A Survey of Benzodiazepine and Antidepressant Use in Outpatients with Mood Disorders in Japan	内田裕之	他 精神・神経科学
BMC Psychiatry	2009	Persistence and Compliance to Antidepressant Treatment in Patients with Depression: A Retrospective Chart Review	内田裕之	他 精神・神経科学
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	2009	Dosing of Antipsychotics in Schizophrenia across the Life-Spectrum	内田裕之	他 精神・神経科学
J Clin Psychopharmacol	2009	Predictors of Clinical Worsening Following a Switch to Aripiprazole in Patients with Schizophrenia: A 1-year Naturalistic Follow-up Study	内田裕之	他 精神・神経科学
Journal of Clinical Psychiatry	70 2009 397-405	Increased Sensitivity to Antipsychotics in the Elderly - Evidence and Mechanisms	内田裕之	他 精神・神経科学
Journal of Anxiety Disorders	23 2009 477-481	Benzodiazepine and Antidepressant Use in Older Patients with Anxiety Disorders: A Survey of 796 Outpatients in Japan	内田裕之	他 精神・神経科学
American Journal of Geriatric Psychiatry	17 2009 255-263	Sensitivity of Older People to Antipsychotic Motor Side Effects: A PET Study Examining Potential Mechanisms	内田裕之	他 精神・神経科学
Psychiatry and Clinical Neuroscience	126 2009 63	Should Adjunctive Antipsychotic Treatment be Continued in Remitted Patients with Depression?	内田裕之	他 精神・神経科学

Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	33	2009	Antipsychotic-induced Paroxysmal Perceptual Alteration in a Patient with Bipolar Disorder	内田裕之	他	精神・神経科学	
	160-161						
精神科		2009	抗精神病薬は単剤化しなければならないのか	内田裕之	他	精神・神経科学	
臨床精神薬理		2009	統合失調症の維持期における抗精神病薬の最小維持用量：その意義と課題	内田裕之	他	精神・神経科学	
Psychiatry Clin Neurosci	63	2009	Strict Use of Terminology: Reply to Dr. Toda	内田裕之	他	精神・神経科学	
	426-427						
Early Intervention in Psychiatry	3	2009	Clinical practice and research activities for early psychiatric intervention at Japanese centers	山澤涼子		精神・神経科学	
	5-9						
Int J Radiat Oncol Biol Phys	74	2	2009	Dose distribution analysis in stereotactic body radiotherapy using dynamic conformal multiple arc therapy	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)
	363-369						
画像診断	29	12	2009	前立腺癌シード療法 of 知識	大橋俊夫		放射線科学 (治療)
	1394-1401						
Int J Radiat Oncol Biol Phys	76	2	2010	Weekly Low-Dose Docetaxel-Based Chemoradiotherapy for Locally Advanced Oropharyngeal or Hypopharyngeal Carcinoma: A Retrospective, Single-Institution Study	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)
	417-424						
Eur Radiol Suppl	19		2009	Consensus report of the 2nd international forum for liver MRI.	谷本伸弘	他	放射線科学 (診断)
	S975-S989						
Imaging Med	1	1	2009	Gadoxetic acid (Gd-EOB-DTPA) in contrast-enhanced MRI for the diagnosis of hepatocellular carcinoma	谷本伸弘		放射線科学 (診断)
	33-46						
European Radiology	19		2009	The clinical value of bilateral breast MR imaging: is it worth performing on patients showing suspicious microcalcifications on mammography?	秋田あやの	他	放射線科学 (診断)
	2089-2096						
日本歯科評論	69	4	2009	ビスフォスフォネート投与患者におけるイン プラント治療	矢郷香	他	歯科・口腔外 科学

111-120					
日本顎顔面インプラント学会					
8	1	2009	インプラント除去が契機となり発症したビス フォスフォネート投与患者の下顎骨壊死の1 例	矢郷香	他 歯科・口腔外 科学
	34-40				
Neurologia medico-chirurgica					
49	12	2009	Surgical Strategy for Tumors Located in or Extending From the Intracranial Space to the Infratemporal Fossa-Advantages of the Transcranial Approach(Zygomatic Infratemporal Fossa Approach)and the Indications for a Combined Transcranial and Transcervical Approach-	矢郷香	他 歯科・口腔外 科学
	580-586				
日本歯科医学会誌					
29		2010	抗凝固療法患者の抜歯に関する医師を含めた ガイドライン作成(案)について	矢郷香	歯科・口腔外 科学
	42-46				
The Keio Journal of Medicine					
58	4	2009	Activities of Daily Living(ADL) Structure of Patients with Duchenne Muscular Dystrophy, Including Adults	里宇明元	他 リハビリテ ーション医 学
	223-226				
Disability & Rehabilitation					
31	5	2009	Identification of quasi-in-need-of-care state (QUINOCS) among community dwelling elderly people using a seven-item subset of the Functional Independence Measure (FIM?)	里宇明元	他 リハビリテ ーション医 学
	381-386				
Spinal Cord					
47	3	2009	Subscapularis motor point block for spastic shoulders in patients with cervical cord injury	里宇明元	他 リハビリテ ーション医 学
	249-251				
Neurorehabilitation Neural Repair					
23	2	2009	Motor improvement and orticospinal mdulation induced by Hybrid Assistive Neuromuscular Dynamic Stimulation (HANDS) therapy in patients with chronic stroke	里宇明元	他 リハビリテ ーション医 学
	125-132				
月刊ナーシング					
29	5	2009	頭部外傷発症のメカニズム. 脳・神経イラス トレイテッド:病態生理とアセスメント	並木淳	救急医学
	112-113				
月刊ナーシング					
29	5	2009	脳挫傷と急性硬膜下血腫. 脳・神経イラス トレイテッド:病態生理とアセスメント	並木淳	救急医学
	122-123				
月刊ナーシング					
29	5	2009	急性硬膜外血腫. 脳・神経イラストレイテッ ド:病態生理とアセスメント	並木淳	救急医学
	120-121				
臨床脳波					
51	4	2009	顔面筋 F 波の測定	並木淳	他 救急医学
	247-252				

日本救急医学会雑誌	20	6	2009	研修医の Japan Coma Scale 誤判定の要因 - 救急患者の意識レベルシミュレーションを用いた検討 -	並木淳	他	救急医学
295-303							
Pharmastage	9	1	2009	がん免疫療法臨床試験における症例エントリーの問題点	今村知世	他	臨床薬剤学
52-27							
腫瘍内科	4	2	2009	日米のがん臨床試験環境の違いと今後の展望	今村知世	他	臨床薬剤学
162-167							
Cancer Biol Ther	8	19	2009	A Phase I Study of Paclitaxel and Continuous Daily CAI in Patients with Refractory Solid Tumors.	今村知世	他	臨床薬剤学
1800-1805							
日本化学療法学会雑誌	57	S-2	2009	Levofloxacin 500mg 経口投与時の母集団薬物動態/薬力学解析	谷川原祐介	他	臨床薬剤学
47-54							
Respirology	14		2009	Impact of pharmacokinetics and pharmacodynamics on the efficacy of pranlukast in Japanese asthmatics	谷川原祐介	他	臨床薬剤学
822-827							
Cancer Chemotherap. Pharmacol	64	3	2009	A phase I escalating single-dose and weekly fixed-dose study of cetuximab pharmacokinetics in Japanese patients with solid tumors.	谷川原祐介	他	臨床薬剤学
557-564							
Oncology Research	17		2009	Effects of $\alpha$ -adrenoceptor antagonist doxazosin on MDR1-mediated multidrug resistance and transcellular transport	谷川原祐介		臨床薬剤学
527-533							
Nat Rev Clin Oncol	7	3	2010	Investigator-Initiated Cancer Trials with INDs for Approval in Japan	今村知世	他	臨床薬剤学
127-128							
J Clin Oncol	28	8	2010	Significant Effect of Polymorphisms in CYP2D6 and ABCC2 on Clinical Outcomes of Adjuvant Tamoxifen Therapy for Breast Cancer Patients.	今村知世	他	臨床薬剤学
1287-1293							
J Pathol			2009	Increased RANKL expression is related to tumour migration and metastasis of renal cell carcinomas.	三上修治	他	病理診断部
Int J Clin Oncol.	14	3	2009	Brain metastasis of a papillary renal cell carcinoma, identified as type 2.	三上修治	他	病理診断部

270-2					
J Urology					
181 6 2482-2489	2009	Impact of lymph node dissection on cancer specific survival in patients with upper tract urothelial carcinoma treated with radical nephroureterectomy.	三上修治	他	病理診断部
診断病理					
26 3 137-144	2009	腎腫瘍の病理診断	三上修治		病理診断部
Cancer Science					
	2009	Vitamin E succinate induced apoptosis and enhanced chemosensitivity to paclitaxel in human bladder cancer cells in vitro and in vivo.	三上修治	他	病理診断部
Prostate					
	2009	Ets-1 and hypoxia inducible factor-1alpha inhibition by angiotensin II type-1 receptor blockade in hormone-refractory prostate cancer.	三上修治	他	病理診断部
J Stroke Cerebrovasc Dis.					
18 5 405-406	2009	Subcortical intracerebral hemorrhage caused by mucormycosis in a patient with a history of bone-marrow transplantation.	三上修治	他	病理診断部
Carcinogenesis					
	2009	Activation of the Aryl hydrocarbon receptor pathway enhances cancer cell invasion by up-regulating the MMP expression and is associated with poor prognosis in upper urinary tract urothelial cancer.	三上修治	他	病理診断部
Circulation					
120 25 290-292	2009	Stroke due to undifferentiated aortic intimal sarcoma with disseminated metastatic lesions.	三上修治	他	病理診断部
Eur Urol.					
	2009	The Extent of Lymphadenectomy Seems to Be Associated with Better Survival in Patients with Nonmetastatic Upper-Tract Urothelial Carcinoma: How Many Lymph Nodes Should Be Removed?	三上修治	他	病理診断部
J Clin Endocrinol Metab					
	2010	Adrenocortical Zonation in Humans under Normal and Pathological Conditions.	三上修治	他	病理診断部
Jpn J Clin Oncol					
39 9 569-75	2009	Dose-escalating and Pharmacokinetic Study of a Weekly Combination of Paclitaxel and Carboplatin for Inoperable Non-Small Cell Lung Cancer (NSCLC): JCOG 9910-DI.	猶木克彦	他	腫瘍センタ
Int J Cardiol.					
136 2 245-7	2009	Serum level of pigment epithelium derived factor (PEDF) is an independent determinant of resting heart rate in Japanese subjects.	井上浩義	他	医学部 (日吉)

Diabetes Metab Res Rev.					
25	3	2009	Pigment epithelium-derived factor (PEDF) prevents platelet activation and aggregation in diabetic rats by blocking deleterious effects of advanced glycation end-products (AGEs).	井上浩義	他
	266-271				医学部 (日吉)
Diabetes Metab Res Rev.					
25	1	2009	Serum levels of pigment epithelium-derived factor (PEDF) are positively associated with visceral adiposity in Japanese patients with type 2 diabetes.	井上浩義	他
	52-56				医学部 (日吉)
<i>Tetrahedron</i>					
65	45	2009	Total synthesis of mycestericin A and its 14-epimer	大石毅	他
	9188-9201				医学部 (日吉)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載にあたって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること (当該医療機関に所属する医師などが主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発および評価の実績

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究	長谷川 博俊	医学部臨床教室	1,102,500 円	(財)先端医療振興財団 補 委 ○
小児心電・心音図の基準値設定に関する研究	山岸 敬幸	医学部臨床教室	564,600 円	(財)東京都予防医学協会 補 委 ○
J-RHYTHM II 試験	佐藤 俊明	医学部臨床教室	4,718,900 円	(財)日本心臓財団 補 委 ○
生体内における酸素およびガス分子を介した代謝ネットワークの解明による糖質・アミノ酸利用制御機構の包括的理解	末松 誠	医学部基礎教室	2,235,294 円	(財)糧食研究会 補 委 ○
SOCS-mimeticsの開発とJAK阻害剤のアレルギー性疾患治療への応用	吉村 昭彦	医学部基礎教室	40,000,000 円	(独)医薬基盤研究所 補 委 ○
接着分子CD44の機能阻害に基づくがん浸潤・転移抑制法の開発	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	17,000,000 円	(独)医薬基盤研究所 補 委 ○
新たなヒト悪性中皮腫浸潤増殖モデルの開発およびヒト化CD26抗体による悪性中皮腫の新規治療法の開発	山田 健人	医学部基礎教室	21,550,000 円	(独)医薬基盤研究所 補 委 ○
transgenic mouseモデルなどを用いたHNペプチド誘導体コリペリンの有効性の証明	相磯 貞和	医学部基礎教室	6,600,000 円	(独)医薬基盤研究所 補 委 ○
内在性オリゴデンドロサイト前駆細胞の分化誘導を基盤とする中枢神経系髄鞘再生医薬の開発	中原 仁	医学部総合医科学研究センター	20,000,000 円	(独)医薬基盤研究所 補 委 ○
サルおよびヒト胚性幹細胞を用いた心筋細胞の再生と移植法の開発	福田 恵一	医学部坂口光洋記念講座	79,500,000 円	(独)医薬基盤研究所 補 委 ○
RNAサイレンシングが司る遺伝子情報制御	塩見 美喜子	医学部基礎教室	98,150,000 円	(独)科学技術振興機構 補 委 ○
T細胞分化のリプログラミング	吉村 昭彦	医学部基礎教室	45,544,200 円	(独)科学技術振興機構 補 委 ○
「骨代謝」における破骨細胞の細胞融合と代謝制御	宮本 健史	医学部総合医科学研究センター	15,600,000 円	(独)科学技術振興機構 補 委 ○
人工癌幹細胞を用いた分化制御異常解析と癌創薬研究	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	94,172,000 円	(独)科学技術振興機構 補 委 ○
代謝産物の変化情報に基づく心筋機能制御法の確立	佐野 元昭	医学部坂口光洋記念講座	13,000,000 円	(独)科学技術振興機構 補 委 ○
ヒト再生医療分野における間葉系幹細胞の高感度かつ高純度な細胞分離技術の確立	松崎 有未	医学部総合医科学研究センター	999,000 円	(独)科学技術振興機構 補 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
造血幹細胞の代謝解析	須田 年生	医学部坂口光洋記念講座	13,000,000 円	(独)科学技術振興機構 補 委 ○
外傷性脊髄傷害における機能的ワイヤによる神経機能回復の評価	中村 雅也	医学部臨床教室	5,200,000 円	(独)科学技術振興機構 補 委 ○
自然免疫反応におけるシェディングの役割と制御機構	白壁 恭子	医学部基礎教室	12,870,000 円	(独)科学技術振興機構 補 委 ○
高感度大腸癌マーカーの開発	藤田 知信	医学部附属先端医科学研究所	2,000,000 円	(独)科学技術振興機構 JSTイノベーションサテライト茨城 補 委 ○
神経細胞をin vitro で増殖させる技術開発	味岡 逸樹	医学部基礎教室	2,000,000 円	(独)科学技術振興機構 JSTイノベーションサテライト茨城 補 委 ○
乳がんの悪性決定因子に対する阻害剤の探索と治療戦略の開発	有馬 好美	医学部附属先端医科学研究所	2,000,000 円	(独)科学技術振興機構 JSTイノベーションサテライト茨城 補 委 ○
研究者海外派遣基金「組織的な若手研究者等海外派遣プログラム」	医学研究科	医学部	4,437,000 円	(独)日本学術振興会 補 ○ 委
学術動向等に関する調査研究(委託)	小安重夫	医学部基礎教室	12,500,000 円	(独)日本学術振興会 補 委 ○
幹細胞とがん幹細胞	須田 年生	医学部坂口光洋記念講座	22,000,000 円	(独)日本学術振興会 補 委 ○
癌特異的抗原受容体改変T細胞の輸注とがんワクチンによる複合的がん免疫療法の研究開発	河上 裕	医学部附属先端医科学研究所	64,984,500 円	NEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構) 補 委 ○
難治性疾患克服	赤松 和土	医学部基礎教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
子ども家庭総合研究	浅田弘法	医学部臨床教室	500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー疾患予防・治療研究	浅野浩一郎	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー疾患予防・治療研究	天谷雅行	医学部臨床教室	24,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	石井 智弘	医学部臨床教室	1,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
循環器疾患等生活習慣病対策総合	石井裕正	医学部臨床教室	19,300,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	石河 晃	医学部臨床教室	600,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	石河 晃	医学部臨床教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
創薬基盤推進研究	泉 陽太郎	医学部臨床教室	2,400,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	伊東 大介	医学部臨床教室	500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
医療技術実用化総合	伊藤 裕	医学部臨床教室	9,990,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
循環器疾患等生活習慣病対策総合研究	伊藤 裕	医学部臨床教室	1,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
こころの健康科学研究	大野 裕	保健管理センター	5,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
こころの健康科学	大野 裕	保健管理センター	45,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
こころの健康科学	大野 裕	保健管理センター	500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
こころの健康科学	大野 裕	保健管理センター	200,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
がん臨床研究	大家基嗣	医学部臨床教室	400,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
第3次対がん総合戦略研究	岡田保典	医学部	5,400,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	小川 郁	医学部臨床教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
エイズ対策研究	加藤 真吾	医学部基礎教室	24,700,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
こころの健康科学研究	加藤元一郎	医学部臨床教室	12,300,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー疾患予防・治療研究	金子祐子	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー疾患予防・治療研究	亀田 秀人	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究	河合俊英	医学部臨床教室	250,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
地域医療基盤開発推進研究	河瀬 斌	医学部臨床教室	150,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	神崎 晶	医学部臨床教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
医療技術実用化総合研究	北川雄光	医学部臨床教室	3,070,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
がん臨床研究	北川雄光	医学部基礎教室	400,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服	工藤 純	医学部基礎教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー疾患予防・治療研究	工藤純	医学部基礎教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
こころの健康科学	久保健一郎	医学部基礎教室	2,900,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	小堺 有史	医学部臨床教室	300,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服	小崎 健次郎	医学部臨床教室	12,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
子ども家庭総合研究	小崎健次郎	医学部臨床教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
子ども家庭総合研究	小崎健次郎	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	小崎健次郎	医学部臨床教室	5,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
政策創薬総合	小林紘一	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー疾患予防・治療研究	小安重夫	医学部基礎教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
政策創薬総合研究	齋藤智也	医学部基礎教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
創薬基盤推進研究	佐野元昭	医学部坂口光洋記念講座	5,964,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	1,100,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	柴田洋孝	医学部臨床教室	1,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	柴田洋孝	医学部臨床教室	150,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	榎村 重人	医学部臨床教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
臨床研究基盤整備推進研究	末松 誠	医学部基礎教室	105,666,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
肝炎等克服緊急対策	杉山 和夫	医学部基礎教室	3,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	鈴木 則宏	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	鈴木則宏	医学部臨床教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	鈴木則宏	医学部臨床教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究	関口進一郎	医学部臨床教室	400,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	竹内 勤	医学部基礎教室	3,200,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー性疾患等予防・治療研究事業	竹内 勤	医学部臨床教室	34,600,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
新興・再興研究	竹内 勤	医学部基礎教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー疾患予防・治療研究	竹内 勤	医学部臨床教室	1,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー疾患予防・治療研究	竹内 勤	医学部臨床教室	64,839 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー疾患予防・治療研究	竹内 勤	医学部臨床教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー疾患予防・治療研究	竹内 勤	医学部臨床教室	2,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
こころの健康科学	田中大介	医学部基礎教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	坪田 一男	医学部臨床教室	15,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	坪田 一男	医学部臨床教室	1,200,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	坪田 一男	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
創薬基盤推進研究	富田 裕	医学部臨床教室	2,400,000 円	厚生労働省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
難治性疾患克服研究	戸山 芳昭	医学部臨床教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	中村 雅也	医学部臨床教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服	中村雅也	医学部臨床教室	100,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	西脇 祐司	医学部基礎教室	500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
長寿科学総合研究	西脇祐司	医学部基礎教室	4,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
長寿科学総合研究	西脇祐司	医学部基礎教室	1,650,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	信川益明	医学部寄附講座	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	長谷川 奉延	医学部臨床教室	16,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	長谷川奉延	医学部臨床教室	2,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	長谷川奉延	医学部臨床教室	1,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
子ども家庭総合研究	浜谷敏生	医学部臨床教室	500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
子ども家庭総合研究	浜谷敏生	医学部臨床教室	1,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	林 松彦	医学部中央診療施設等	16,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	日比 紀文	医学部臨床教室	5,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	日比 紀文	医学部臨床教室	18,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	福田恵一	医学部坂口光洋記念講座	64,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
新興・再興研究	藤島清太郎	医学部中央診療施設等	1,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	星野 健	医学部臨床教室	4,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
がん臨床研究	星野晴彦	医学部臨床教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	本間 康一郎	医学部臨床教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	本間聡起	医学部寄附講座	300,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
長寿科学総合研究	松本秀男	医学部臨床教室	12,800,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	松本守雄	医学部臨床教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
子ども家庭総合研究	丸山哲夫	医学部臨床教室	750,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究	三浦左千夫	医学部基礎教室	1,400,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
政策創薬総合研究	三好俊一郎	医学部寄附講座	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
がん臨床研究	森岡秀夫	医学部臨床教室	650,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
医療技術実用化総合	森川康英	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
医療技術実用化総合	森川康英	医学部臨床教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	森毅彦	医学部臨床教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
子ども家庭総合研究	山岸敬幸	医学部臨床教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	横山健次	医学部臨床教室	1,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	吉川 勉	医学部臨床教室	1,100,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	吉崎 崇仁	医学部臨床教室	300,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	脇野 修	医学部臨床教室	800,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
政策科学総合(統計情報総合研究事業)	渡辺 賢治	医学部中央診療施設等	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
医療技術実用化総合研究	渡辺賢治	医学部中央診療施設等	6,793,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー疾患予防・治療研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー疾患予防・治療研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	800,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	1,600,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
こころの健康科学研究	加藤元一郎	医学部臨床教室	2,376,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
こころの健康科学研究	加藤元一郎	医学部臨床教室	500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
傷害保険福祉総合研究	加藤元一郎	医学部臨床教室	1,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
エイズ対策研究	加藤真吾	医学部基礎教室	5,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
エイズ対策研究	加藤真吾	医学部基礎教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
創薬基盤推進研究事業:政策創薬総合研究	鎌田徹治	医学部基礎教室	1,800,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
子ども家庭総合研究	吉村泰典	医学部臨床教室	4,410,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
子ども家庭総合研究	久慈直昭	医学部臨床教室	1,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	桑名正隆	医学部臨床教室	1,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	桑名正隆	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	桑名正隆	医学部臨床教室	1,600,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	桑名正隆	医学部臨床教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
長寿科学総合研究	戸山芳昭	医学部臨床教室	10,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
難治性疾患克服研究	戸山芳昭	医学部臨床教室	33,600,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
肝炎等克服緊急対策	坂元亨宇	医学部基礎教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
第3次対がん総合戦略研究	坂元亨宇	医学部基礎教室	5,400,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	小川 郁	医学部臨床教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
新興・再興研究	小林正規	医学部基礎教室	3,200,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
がん臨床研究	青木大輔	医学部臨床教室	18,410,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
第3次対がん総合戦略研究	青木大輔	医学部臨床教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
がん臨床研究	青木大輔	医学部臨床教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	千葉一裕	医学部臨床教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	千葉一裕	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	千葉一裕	医学部臨床教室	1,300,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
創薬基盤推進研究事業:政策創薬総合研究	村田 満	医学部中央診療施設等	1,200,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	村田 満	医学部中央診療施設等	41,400,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	天谷 雅行	医学部臨床教室	600,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	天谷雅行	医学部臨床教室	5,400,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
免疫アレルギー疾患予防・治療研究	天谷雅行	医学部臨床教室	3,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	日比紀文	医学部臨床教室	4,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
難治性疾患克服研究	日比紀文	医学部臨床教室	5,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
創薬基盤推進研究事業:政策創薬総合研究	半田 誠	医学部中央診療施設等	18,798,000 円	厚生労働省 補 委 ○
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究	半田 誠	医学部中央診療施設等	650,000 円	厚生労働省 補 委 ○
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究	半田 誠	医学部中央診療施設等	600,000 円	厚生労働省 補 委 ○
創薬基盤推進研究	武田純三	医学部臨床教室	3,300,000 円	厚生労働省 補 委 ○
難治性疾患克服研究	武林 亨	医学部基礎教室	1,000,000 円	厚生労働省 補 委 ○
難治性疾患克服研究	武林 亨	医学部基礎教室	6,000,000 円	厚生労働省 補 委 ○
難治性疾患克服研究	平形道人	医学部専修医研修センター	2,200,000 円	厚生労働省 補 委 ○
政策創薬総合	堀之内宏久	医学部臨床教室	13,604,000 円	厚生労働省 補 委 ○
難治性疾患克服研究	里宇明元	医学部臨床教室	700,000 円	厚生労働省 補 委 ○
糖タンパク質を含む複合糖鎖抗原に対する人工抗体の研究開発	高柳 淳	医学部基礎教室	3,150,000 円	バイオテクノロジー開発技術研究組合 補 委 ○
HIV-1の薬剤耐性に関する研究	加藤 真吾	医学部基礎教室	1,600,000 円	医療法人財団荻窪病院 補 委 ○
月面歩行と転倒予防に関する研究	里宇 明元	医学部臨床教室	5,441,295 円	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 補 委 ○
小児リハビリテーション医療のための評価法の確立/脳性麻痺児の下肢痙性に対する新しい装具の試みに関する研究	井口 陽子	医学部臨床教室	1,500,000 円	国立成育医療センター 補 委 ○
皮膚バリア機能障害評価法の確立と分子補充療法の開発/小児アトピー性皮膚炎、魚鱗癬患者における皮膚バリア機能遺伝子変異の解析	海老原 全	医学部臨床教室	1,000,000 円	国立成育医療センター 補 委 ○
小児リハビリテーション医療のための評価法の確立/PEDIを用いた子どもの運動機能評価法の確立	青木 朝子	医学部臨床教室	1,500,000 円	国立成育医療センター 補 委 ○
成長・成熟障害の遺伝子医療全国ネットワークシステムの構築/成長・成熟障害における遺伝子型-表現型解析	長谷川 奉延	医学部臨床教室	1,500,000 円	国立成育医療センター 補 委 ○
小児リハビリテーション医療のための評価法の確立/乳児期に生じる非対称的頭部変形の客観的評価法の確立と将来の非対称的姿勢の予防法の検討	里宇 明元	医学部臨床教室	1,500,000 円	国立成育医療センター 補 委 ○
iPS細胞研究国際拠点人材養成事業	岡野 栄之	医学部基礎教室	3,240,000 円	国立大学法人京都大学 補 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
ADLib法で作製したBAFF(B cell-activating factor belonging to the TNF family)抗体の薬効評価	竹内 勤	医学部臨床教室	1,260,000 円	財団法人埼玉県中小企業振興公社 補委○
電子線等による膜タンパク質及びその複合体の構造解析技術の開発	安井 正人	医学部基礎教室	13,650,000 円	社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム 補委○
機能性RNAプロジェクト研究開発項目③機能性RNAの機能解析「マイクロRNAの作用機構の解明」	塩見 美喜子	医学部基礎教室	34,999,650 円	社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム 補委○
高感度DNAチップを用いた発現解析技術を基盤としたiPS細胞の選別・評価・製造技術等の開発	須田 年生	医学部坂口光洋記念講座	32,999,400 円	社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム 補委○
iPS細胞等幹細胞産業応用促進基盤技術開発	福田 恵一	医学部坂口光洋記念講座	39,998,700 円	社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム 補委○
病理病期Ⅱ-ⅢA期非小細胞肺癌完全切除例に対してシスプラチン/ドセタキセルの後にTS-1の維持療法を行う術後補助科学療法のfeasibility study(TORG0809)	副島 研造	医学部臨床教室	787,500 円	特定非営利活動法人 胸部腫瘍臨床研究機構 補委○
生殖細胞の特性に基づく新しいプログラミング手法の開発	永松 剛	医学部坂口光洋記念講座	9,100,000 円	独立行政法人 科学技術振興機構 補委○
トリプルネガティブ乳癌治療用抗体医薬の開発	佐谷 秀行	医学部附属先端医科学研究所	7,478,000 円	独立行政法人 科学技術振興機構 補委○
細胞内機能ドメインが大脳皮質形成に果たす役割の解明	川内 健史	医学部基礎教室	8,970,000 円	独立行政法人 科学技術振興機構 補委○
生体内ガス分子の生体制御機構の解明と医学応用	末松 誠	医学部基礎教室	36,878,400 円	独立行政法人科学技術振興機構 補委○
シグナル伝達機構の解明と操作による固體行動や回路レベルの制御	柚崎 通介	医学部基礎教室	218,400,000 円	独立行政法人科学技術振興機構 補委○
質量顕微鏡法における空間特異的情報検出ソフトウェアの開発	涌井 昌俊	医学部基礎教室	4,342,000 円	独立行政法人科学技術振興機構 補委○
天然物由来シグナル阻害剤を用いた癌による免疫抑制と癌転移機構の解明と創薬への応用	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	2,000,000 円	日本私立学校振興・共済事業団 補委○
腸管神経堤幹細胞の分化の制御機構の解明とヒルシュスプルング病の再生医学実現	芝田晋介	医学部基礎教室	1,500,000 円	日本私立学校振興・共済事業団 補委○
発生生物学と情報科学の連携による高次脳機能獲得戦略の解明	仲嶋一範	医学部基礎教室	2,000,000 円	日本私立学校振興・共済事業団 補委○
抑制性神経細胞に着目した大脳皮質構築機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	3,700,000 円	日本私立学校振興・共済事業団 補委○
Cell Search Systemを応用した末梢循環腫瘍細胞検出方法の最適化と臨床的意義の解析	野守裕明	医学部臨床教室	3,970,000 円	日本私立学校振興・共済事業団 補委○
ヒト肝癌増殖・転移モデルを用いた分子標的治療薬の機能解明	トブンリン	医学部基礎教室	2,210,000 円	文部科学省 補委○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
老齢脳における再ミエリン化機構の解明とミエリン再生療法の開発に関する研究	阿相皓晃	医学部漢方医学センター	780,000 円	文部科学省 補 ○ 委
母体低栄養、ステロイド投与のネフロン形成への影響およびそのメカニズムの解明	粟津緑	医学部臨床教室	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
アクアポリン4の蛋白複合体とアレイ構造による機能制御に関する研究	安井正人	医学部基礎教室	8,970,000 円	文部科学省 補 ○ 委
線維化における炎症性細胞の役割	安岡秀剛	医学部臨床教室	2,340,000 円	文部科学省 補 ○ 委
「細胞と代謝」の基盤研究を担う若手育成	安西祐一郎	理工学部	249,937,000 円	文部科学省 補 ○ 委
PhD躍動メディカルサイエンス人材養成	安西祐一郎	理工学部	99,190,000 円	文部科学省 補 ○ 委
骨髄由来樹状細胞の心筋梗塞後左室リモデリングに及ぼす影響	安斉俊久	医学部臨床教室	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
熱傷後敗血症性肺障害モデルにおけるHMGB1の動態の解明	安倍晋也	医学部臨床教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
小胞体ストレス誘導遺伝子、スタニオカルチン2の細胞死抑制作用と神経疾患での役割	伊東大介	医学部臨床教室	650,000 円	文部科学省 補 ○ 委
セルメタボリズムの心血管内分泌代謝学的解析とメタボリックシンドローム包括医療応用	伊藤裕	医学部臨床教室	8,580,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒト胃癌幹細胞の機能解析	伊藤亮	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
小動物用コンパクトMRI	医学部(信濃町)	医学部	17,934,000 円	文部科学省 補 ○ 委
膀胱癌に対するTS-1単独及びrTS遺伝子導入併用による抗腫瘍効果の増強	井手広樹	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
細胞内細菌処理機構からみた腸管粘膜免疫システムの解明と炎症性腸疾患治療への応用	井上詠	医学部中央診療施設等	11,050,000 円	文部科学省 補 ○ 委
クローン病の病態における細胞内寄生細菌に対するオートファジー機能異常の重要性	井上詠	医学部中央診療施設等	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
肺悪性腫瘍に対する凍結融解療法成績向上、普及に向けて:至適条件の解明と臨床応用	井上政則	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
PiwiとpiRNAによる生殖幹細胞の非対称性制御	稲垣幸	医学部基礎教室	3,900,000 円	文部科学省 補 ○ 委
頭頸部癌特異的なマイクロRNAの解析と治療標的としての可能性	稲垣康治	医学部臨床教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
涙腺の炎症におけるマクロファージの役割	稲葉隆明	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
肺胞上皮幹細胞の組織再生能に差をもたらす制御因子は何か	羽藤泰	医学部臨床教室	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
腸管免疫系の炎症誘発に関わるTh17細胞の分化・機能におけるPI3Kの役割	永井重徳	医学部基礎教室	4,800,000 円	文部科学省 補 ○ 委
Helicobacter pylori胃炎発症の制御に関わるヘルパーT細胞の役割	永井重徳	医学部基礎教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
腸管病原性大腸菌の定着機構と粘膜免疫系の解析および腸管再構築感染モデルの検討	永井武	医学部基礎教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
先天性胸郭変形症に対する矯正手術における、術後形態予測システムの開発	永竿智久	医学部臨床教室	2,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
マウス雄生殖幹細胞におけるGDNFニッチングナルの同定と幹細胞維持の解析	永松剛	医学部坂口光洋記念講座	5,460,000 円	文部科学省 補 ○ 委
多能性幹細胞および組織幹細胞におけるnucleosteminの機能解析	永松剛	医学部坂口光洋記念講座	2,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ランゲルハンス細胞ニッチの同定とアンカリングポイントの解析	永尾圭介	医学部総合医科学研究センター	11,180,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒアルロン酸マトリクス代謝およびCD44細胞外ドメイン切断阻害による癌浸潤抑制	永野修	医学部附属先端医科学研究所	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
「非翻訳RNAによる高次細胞機能発現機構の解明」(Argonaute蛋白質の構造-機能相関)	塩見春彦	医学部基礎教室	11,000,000 円	文部科学省 補 ○ 委
転移因子とArgonauteの軍拡競争からゲノムの進化を探る	塩見春彦	医学部基礎教室	52,000,000 円	文部科学省 補 ○ 委
面積線量計を用いたIMRT吸収線量測定	奥洋平	医学部臨床教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
呼吸リズムパターン形成に関わる頸髄呼吸神経回路網の全容解明	岡田泰昌	月が瀬リハビリテーションセンター	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ADAM28の癌細胞増殖・浸潤・転移における作用解析	岡田保典	医学部基礎教室	7,100,000 円	文部科学省 補 ○ 委
メタロプロテアーゼによる組織内微小環境因子代謝の作用機構解明と制御	岡田保典	医学部基礎教室	16,250,000 円	文部科学省 補 ○ 委
マウス胎仔創傷治癒における炎症反応の解析	岡部圭介	医学部臨床教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
クローン病マクロファージの機能解析: オートファジーから見た細菌応答・分化異常	岡本晋	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
神経特異的ユビキチンリガーゼKspotによるシナス制御	岡野ジェームス洋尚	医学部基礎教室	2,400,000 円	文部科学省 補 〇 委
幹細胞医学のための教育研究拠点	岡野栄之	医学部基礎教室	321,711,000 円	文部科学省 補 〇 委
再生医療の実現化を目指したヒトiPS細胞・ES細胞・体性幹細胞研究拠点	岡野栄之	医学部基礎教室	526,450,000 円	文部科学省 補 〇 委
「先端的遺伝子導入・改変技術による脳科学研究のための独自の霊長類モデルの開発と応用」(遺伝子改変コモンマーマウスによるヒト神経疾患モデルの開発)	岡野栄之	医学部基礎教室	30,000,000 円	文部科学省 補 〇 委
神経分化と可塑性の転写後レベルにおける調節メカニズム	岡野栄之	医学部基礎教室	8,600,000 円	文部科学省 補 〇 委
成体脳神経幹細胞の活性化とニューロン新生:その制御機構の解明と可視化技術の開発	岡野栄之	医学部基礎教室	114,140,000 円	文部科学省 補 〇 委
Gene Signatureを用いた新しい分子標的薬の感受性予測法の確立	岡林剛史	医学部臨床教室	2,210,000 円	文部科学省 補 〇 委
炎症性腸疾患におけるADAM分子を介した新規炎症機構の解明	下田将之	医学部基礎教室	2,340,000 円	文部科学省 補 〇 委
ヒルシュブルグ病における神経堤幹細胞移植治療の可能性に関する研究	下島直樹	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 〇 委
他者理解と適応的運動の社会神経科学的メカニズムの解明	加藤元一郎	医学部臨床教室	4,900,000 円	文部科学省 補 〇 委
酸化ストレスによる角膜上皮細胞の形質転換と悪性転換の抑制	加藤直子	医学部	1,430,000 円	文部科学省 補 〇 委
RNA結合蛋白質Musashi1が介するmiRNA翻訳制御	河原裕憲	医学部基礎教室	2,340,000 円	文部科学省 補 〇 委
南関東圏における先端的がん専門家の育成ー患者中心のチーム医療を牽引する人材養成の拠点づくりー	河上 裕	医学部附属先端医学研究所	32,130,000 円	文部科学省 補 〇 委
新しい腫瘍抗原同定に基づく免疫療法の開発	河上裕	医学部附属先端医学研究所	14,000,000 円	文部科学省 補 〇 委
iPS細胞・間葉系幹細胞からの色素細胞と悪性黒色腫の作成と発現分子の臨床応用	河上裕	医学部附属先端医学研究所	1,600,000 円	文部科学省 補 〇 委
マウス成体間葉系幹細胞由来の新規高品質iPS細胞の樹立	河村佳見	医学部基礎教室	2,340,000 円	文部科学省 補 〇 委
エイジングによる肝再生能の変化と肝幹細胞の役割ー肝移植の知見に基づく基礎的検討	河地茂行	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 〇 委
レトロウイルスベクターを用いた自己免疫性水疱症の病態解明	河野通良	医学部	2,210,000 円	文部科学省 補 〇 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
大動脈瘤の発生及び伸展におけるHMGB1の役割	河野隆志	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
病原性モノクローナル抗体を用いた天疱瘡の口腔粘膜病変発症機序の解明	角田和之	医学部臨床教室	910,000 円	文部科学省 補 ○ 委
「イオンチャネル」型グルタミン酸受容体のチャネル活動非依存性機能の解明	掛川渉	医学部基礎教室	2,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
代謝解剖学的アプローチによるガス分子受容・生成系を標的とした脳血流制御機構の解明	梶村真弓	医学部基礎教室	2,340,000 円	文部科学省 補 ○ 委
臨床応用へ向けての子宮内膜・子宮筋幹細胞特異的分子システムの解明	梶谷宇	医学部総合医科学研究センター	4,550,000 円	文部科学省 補 ○ 委
肥満高血圧におけるプロレニンを介したインスリン抵抗性発生機序の解明	釜菴正	医学部寄附講座	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
外傷・熱傷患者でのプロテインアレイを用いた白血球表面抗原の解析と感染症の予知	関根和彦	医学部臨床教室	3,640,000 円	文部科学省 補 ○ 委
磁性体を用いた新しい子宮内膜症モデルの開発	丸山哲夫	医学部臨床教室	4,940,000 円	文部科学省 補 ○ 委
胃排出障害ラットモデルにおけるグレリン動態とGHS受容体発現の検討	岩崎栄典	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
破骨細胞融合の骨代謝における役割の解明	岩崎良太郎	医学部臨床教室	2,860,000 円	文部科学省 補 ○ 委
潰瘍性大腸炎合併大腸癌に対するp53抗体を用いた新しいサーベイランス法の確立	岩男泰	医学部中央診療施設等	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
MSI陽性子宮体癌におけるフレームシフト変異タンパクの検出と免疫療法への応用	岩田卓	医学部臨床教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
皮膚を完全に再生しうるヒト体性細胞の分離	貴志和生	医学部臨床教室	5,330,000 円	文部科学省 補 ○ 委
非接着培養による細胞老化の制御	貴志和生	医学部臨床教室	1,500,000 円	文部科学省 補 ○ 委
多発性筋炎／皮膚筋炎に伴う急速進行性間質性肺炎の病態解析と新規治療に関する研究	亀田秀人	医学部	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
膀胱癌に対する新規NF- $\kappa$ B活性阻害剤を併用した抗癌治療戦略の確立	菊地栄次	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
静止期造血幹細胞のニッチ操作による新規移植療法の開発	吉原宏樹	医学部総合医科学研究センター	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
患者iPS細胞より分化したドーパミンニューロンの純化と機能の解析	吉崎崇仁	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
敗血症におけるγグロブリン大量療法の有効性に関する検討	吉川貴久	医学部臨床教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
がん細胞の分化異常とテロシンキナーゼ制御	吉村昭彦	医学部基礎教室	12,900,000 円	文部科学省 補 ○ 委
サイトカインのシグナル制御と免疫制御の分子機構	吉村昭彦	医学部基礎教室	11,050,000 円	文部科学省 補 ○ 委
成体幹細胞システムを標的にした雌性生殖器官疾患の病因解明とその制御	吉村泰典	医学部臨床教室	7,540,000 円	文部科学省 補 ○ 委
iPS細胞を用いた緑内障再生医療の開発	吉田哲	医学部総合医科学研究センター	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
デスモグレイン3-GFP遺伝子組み換えマウスを用いた天疱瘡病態機序の検討	吉田和恵	医学部総合医科学研究センター	2,470,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒト卵巣凍結の臨床応用に向けた基礎的検討～手術および凍結の技術革新～	久慈直昭	医学部臨床教室	4,680,000 円	文部科学省 補 ○ 委
アミノ酸代謝モニタリングを用いた炎症性腸疾患の臨床マーカーの確立と治療への応用	久松理一	医学部臨床教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
創傷治癒血管新生の「質」を規定するメカニズムの解析	久保田義顕	医学部総合医科学研究センター	13,130,000 円	文部科学省 補 ○ 委
中心体数制御異常を通じたポーエン病の病態形成メカニズムの解析とモデルマウスの作製	久保亮治	医学部総合医科学研究センター	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
膜脂質変化から始まる浸潤突起形成のメカニズムを解く	及川司	医学部総合医科学研究センター	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
フィーダー細胞表面に存在する上皮分化抑制因子の同定	宮下英之	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
血管ホルモンによる細胞代謝制御のメタボリックシンドロームと加齢における意義	宮下和季	医学部寄附講座	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
磁場による蛋白質の極性制御とその活用	宮内崇行	医学部	1,700,000 円	文部科学省 補 ○ 委
転写抑制因子による破骨細胞分化制御	宮内芳輝	医学部臨床教室	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
骨髄抑制ストレス時の生体防御機構の解明	宮本佳奈	医学部総合医科学研究センター	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
加齢と骨代謝制御	宮本健史	医学部総合医科学研究センター	10,660,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ダウン症における心奇形発症の原因遺伝子の同定	宮本憲一	医学部基礎教室	2,340,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
ケロイド・肥厚性瘢痕発生原因の力学的解明と臨床治療への応用	宮本純平	医学部臨床教室	910,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ゲムコホート研究の社会的認知と血液提供意志に寄与する因子の探索	宮木幸一	医学部寄附講座	2,100,000 円	文部科学省 補 ○ 委
遺伝子多型情報を用いた減塩介入の血圧値と行動に対する影響の評価	宮木幸一	医学部寄附講座	4,030,000 円	文部科学省 補 ○ 委
急性呼吸促進症候群におけるインターロイキン17の動態解析と新規治療薬の開発	宮木大	医学部臨床教室	1,040,000 円	文部科学省 補 ○ 委
自己類似腸内細菌に対する末梢性免疫寛容の生体ライフスパンとその破綻	金井隆典	医学部臨床教室	4,800,000 円	文部科学省 補 ○ 委
免疫系リセットによる炎症性腸疾患の画期的根治療法の開発	金井隆典	医学部臨床教室	9,880,000 円	文部科学省 補 ○ 委
新規ALS原因遺伝子VAPBの機能解析	金蔵孝介	医学部基礎教室	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
エピジェネティック解析技術を用いた心不全の病態解明と新規治療法の確立	金田るり	医学部坂口光洋記念講座	2,470,000 円	文部科学省 補 ○ 委
マウス網膜臨界期に形成されるプリン受容体神経回路	金田誠	医学部基礎教室	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
標的移動に追従する物理フィルターを使用した強度変調治療放射線治療	杵木章二	医学部臨床教室	650,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ジヒドロピリジン系Ca拮抗薬のミネラルコルチコイド受容体拮抗作用に関する検討	栗原勲	医学部寄附講座	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
低酸素応答因子による網膜の組織形成機序の解明	栗原俊英	医学部臨床教室	3,510,000 円	文部科学省 補 ○ 委
神経系におけるRNA結合蛋白質Musashi2の機能解析	桑子賢一郎	医学部寄附講座	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
膠原病に伴う肺動脈性肺高血圧症の病態における骨髄由来細胞の役割の解明	桑名正隆	医学部臨床教室	6,630,000 円	文部科学省 補 ○ 委
マウス無色素上皮の培養系ならびにそれを用いた抗緑内障薬のスクリーニング系の確立	結城賢弥	医学部総合医科学研究センター	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
インターロイキン27受容体遺伝子欠損マウスにおける炎症性骨破壊モデルの解析	古川満	医学部総合医科学研究センター	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
難治性神経疾患の克服に向けた診断・治療技術開発プロジェクト	戸田正博	医学部臨床教室	10,000,000 円	文部科学省 補 ○ 委
網羅的エピジェネティクス解析による脳腫瘍幹細胞特異的な遺伝子発現調節機構の解明	戸田正博	医学部臨床教室	1,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
ヒアルロン酸—CD44シグナルによる上皮間葉移行の脈絡膜血管新生における役割	厚東隆志	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
血管内皮増殖因子受容体に対する低分子量基底膜蛋白質AZ-1の阻害機構	向井邦晃	医学部基礎教室	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒト人工染色体保有マウスを用いたダウン症原因遺伝子の解明	工藤純	医学部基礎教室	18,330,000 円	文部科学省 補 ○ 委
上皮間葉転換癌細胞の骨髄集積による全身性免疫抑制機構の解明	工藤千恵	医学部附属先端医科学研究所	2,860,000 円	文部科学省 補 ○ 委
デルタ2グルタミン酸受容体の新たなシグナル伝達機構—N末端、C末端領域の機能解析	幸田和久	医学部基礎教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
肺切除術後の残存肺には急性肺損傷が潜する	江間俊哉	医学部臨床教室	910,000 円	文部科学省 補 ○ 委
心臓副交感神経の正常発生と分布に必須の因子に関する研究	荒井隆秀	医学部寄附講座	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
大脳新皮質形成期における脳室下帯特異的発現遺伝子の機能解析	荒巻道彦	医学部基礎教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
冠動脈インターベンションの国際比較と質的向上を目指したデータベース構築	香坂俊	医学部寄附講座	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
時期特異的遺伝子強発現マウスを用いた神経幹細胞のクロマチン調節機構に関する研究	高橋孝雄	医学部臨床教室	6,110,000 円	文部科学省 補 ○ 委
乳癌ネオアジュバント症例を用いた化学療法前後におけるALDH陽性癌幹細胞の推移	高橋麻衣子	医学部中央診療施設等	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒトES細胞由来神経幹細胞による脊髄損傷治療法の確立	高橋勇一朗	医学部総合医科学研究センター	2,470,000 円	文部科学省 補 ○ 委
新規グリオーマ幹細胞増殖因子の同定	高橋里史	医学部総合医科学研究センター	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒトパルボウイルスB19による樹状細胞機能異常を標的とした調節リウマチ治療法開発	高橋令子	医学部基礎教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
自然免疫系とオートファジーの相互制御機構	高江洲義一	医学部総合医科学研究センター	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
超高齢者の栄養、主観的QOL、健康状態に関する包括的研究	高山美智代	医学部臨床教室	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
硬組織の形成と破壊を制御するストア作動性カルシウム流入機構の解明	高石官成	医学部臨床教室	2,860,000 円	文部科学省 補 ○ 委
液性因子によるエピジェネティクス制御機構の解析	高田伊知郎	医学部基礎教室	2,400,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
脳死下あるいは心停止後臓器提供を行なったドナー家族の体験	高田幸江	看護医療学部	650,000 円	文部科学省 補 ○ 委
破骨細胞分化後期におけるc-Fosの役割の解明	高田康成	医学部総合医科学研究センター	1,900,000 円	文部科学省 補 ○ 委
RNA結合蛋白質Musashi1によるlet-7機能発現阻害の分子機構解明	今井貴雄	医学部基礎教室	2,340,000 円	文部科学省 補 ○ 委
SOD1ノックアウトマウスを用いたドライアイ発症における上皮間葉移行の検討	根岸一乃	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
神経膠腫における分子生物学的分類の構築と、個別化治療の確立	佐々木光	医学部臨床教室	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
細胞分裂の制御とその破綻による発がん機構の解析	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究研究所	29,500,000 円	文部科学省 補 ○ 委
RNAサイレンシング因子による微小管・中心体形成機構の解明	佐藤薫	医学部基礎教室	1,261,000 円	文部科学省 補 ○ 委
低酸素暴露が肺動脈性高血圧症を誘導するメカニズムの解析	佐藤隆司	医学部総合医科学研究センター	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
喫煙(ニコチン)による胎児・小児の骨軟骨成長障害に関する研究	佐藤和毅	医学部臨床教室	2,470,000 円	文部科学省 補 ○ 委
心筋レドックス応答におけるアミノ酸代謝の重要性	佐野元昭	医学部坂口光洋記念講座	5,330,000 円	文部科学省 補 ○ 委
GISTにおけるがん幹細胞の同定と機能解析:ゲリバック耐性克服を目指して	才川義朗	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
マイクロRNAを標的とした胃がんに対するエピジェネティック治療	斎藤義正	医学部	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
消化器がん個性診断法の開発	坂元亨宇	医学部基礎教室	13,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
G蛋白共役型受容体GPR49/LGR5のヒト組織並びに疾患における発現・機能解析	坂元亨宇	医学部基礎教室	5,720,000 円	文部科学省 補 ○ 委
悪性黒色腫シグナル伝達異常による免疫療法抵抗性の解明と克服法の開発	桜井敏晴	医学部附属先端医科学研究研究所	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
グルタミン酸毒性増悪因子D-セリンを標的とした筋萎縮性側索硬化症の新規治療法開発	笹部潤平	医学部基礎教室	2,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
定住ラテンアメリカ人のChagas病疫学調査と輸血感染予防対策	三浦左千夫	医学部基礎教室	910,000 円	文部科学省 補 ○ 委
生体内神経前駆細胞におけるp27Kip1の発現調節メカニズムに関する研究	三橋隆行	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
転移性卵巣腫瘍における卵巣特異的転移機序及び癌・間質相互作用の研究	三上佳子	医学部臨床教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
腎細胞癌における上皮間葉転換の分子機構	三上修治	医学部中央診療施設等	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
血管ホルモンによる耐糖能制御機構の解明 TORシグナルによる骨格筋脂質蓄積の関与	三石正憲	医学部臨床教室	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
アスコルビン酸の副腎皮質層特異的ステロイドホルモン産生系への関与とその分子機構	三谷美美子	医学部基礎教室	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
血中ステロイド一斉測定および病理組織検体を用いた超早産児の副腎機能の検討	三輪雅之	医学部臨床教室	1,040,000 円	文部科学省 補 ○ 委
細胞内カルシウムシグナル伝達による心臓発生の領域別制御とその分子機構の解明	山岸敬幸	医学部臨床教室	5,200,000 円	文部科学省 補 ○ 委
周辺視野の低次および高次収差データの取得とその臨床的意義の検討	山口剛史	医学部臨床教室	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
AIRE発現細胞株を用いた自己抗原遺伝子の制御機構の解析	山口良考	医学部基礎教室	2,340,000 円	文部科学省 補 ○ 委
救急初期診療に必要な侵襲的手技のためのマネキンと屍体による臨床解剖学教育の開発	山崎元靖	医学部中央診療施設等	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
子宮内膜症病態メカニズムに関与するリポキシゲナーゼ経路関連因子の解析	山崎彰子	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ピロリ菌のヒトへの新たな感染経路の解明	山田健人	医学部基礎教室	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
性差に注目したアルツハイマー病関連記憶障害発症機構の解析	山田真吏奈	医学部基礎教室	1,040,000 円	文部科学省 補 ○ 委
CSEノックアウトマウスを用いた高ホモシステインモデルにおける血管障害の解明	山本美智子	医学部総合医科学研究センター	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
胸(腹)部大動脈瘤手術における持続的脊髄冷却法による脊髄保護効果の臨床的研究	志水秀行	医学部臨床教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
高血圧の退行療法の確立とエピジェネティクス技術をを用いた分子機序の検討	篠村裕之	医学部臨床教室	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
HMGB-1制御による肝虚血再灌流障害抑制法の開発と肝移植への応用	篠田昌宏	医学部臨床教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
皮膚バリア機能障害と喘息発症との関連	若木美佐	医学部臨床教室	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
毛髪を成長・維持させる重要遺伝子のノックダウンマウス作製による網羅的同定	渋谷和憲	医学部基礎教室	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
細菌感染時の樹状細胞による自然免疫系と獲得免疫系の連結機構の解明	小安重夫	医学部基礎教室	29,758,500 円	文部科学省 補 ○ 委
精子幹細胞における、多能性幹細胞性維持のメカニズムの解明	小坂威雄	医学部総合医科学研究センター	2,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
オリゴDNAアレイCGH法による25種の先天異常症候群の遺伝子内欠失の網羅的解析	小崎健次郎	医学部臨床教室	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
糖尿病による心不全発症における性差とホルモン補充療法の有効性の検討	小出希実	医学部臨床教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
内耳の易受傷性と加齢変化に関する検討	小川郁	医学部臨床教室	3,900,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ドナー由来線維芽細胞による眼移植片対宿主病の発症機構の解明と治療法の開発	小川葉子	メディア・コミュニケーション研究所	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
遺伝子改変加齢黄斑変性モデルマウスを用いた青色光刺激による網膜機能・病態の解析	小泉春菜	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
再生に向けたヒト人工多能性幹細胞を用いた網膜変性疾患の病態解明	小沢洋子	医学部	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
月経関連遺伝子産物の機能解析と子宮内膜症の発症・進展に果たす役割	小田英之	医学部総合医科学研究センター	910,000 円	文部科学省 補 ○ 委
全ゲノム連鎖解析により7番染色体にマップされた非症候群性家族性難聴原因遺伝子探索	小島サビヌ和子	医学部基礎教室	2,470,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒト羊膜上皮層のクローニンによる傍細胞経路の調節機構	小林謙	医学部基礎教室	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
経頭蓋磁気刺激による皮質拡張性抑制を利用した非侵襲的な脳虚血耐性の獲得	小林正人	医学部臨床教室	1,040,000 円	文部科学省 補 ○ 委
TRAF6シグナル経路による炎症性発がんの制御	小林隆志	医学部総合医科学研究センター	5,400,000 円	文部科学省 補 ○ 委
細胞内シグナル伝達による自己応答性の制御	小林隆志	医学部総合医科学研究センター	5,000,000 円	文部科学省 補 ○ 委
B細胞における細胞内シグナル制御因子の生理的機能の解明	小林隆志	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒト細胞の再生医療における移植源としての有用性を評価する新規動物システムの確立	松井健	医学部総合医科学研究センター	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
アンジオテンシン受容体遮断の心筋分化に対する効果	松下健一	医学部臨床教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
悪性リンパ腫におけるがん抗原特異的制御性T細胞誘導機構の解明とその制御法の開発	松下麻衣子	医学部附属先端医学研究所	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
ヒト皮下脂肪組織からの新規分化誘導法による血小板産生	松原由美子	医学部中央診療施設等	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
遺伝子改変メダカを用いた悪性黒色腫モデル系の構築	松崎ゆり子	医学部附属先端医科学研究研究所	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
レポーター遺伝子導入による間葉系幹細胞の未分化性維持と分化様式の解明	松崎有未	医学部総合医科学研究センター	6,500,000 円	文部科学省 補 ○ 委
肺胞上皮細胞におけるABCA3トランスポーターとイオンチャネルの機能連関の検討	松崎陽平	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
神経細胞における樹状突起特異的輸送機構	松田信爾	医学部基礎教室	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
破骨細胞・骨芽細胞・骨細胞の連関による骨リモデリング解明	松尾光一	医学部基礎教室	7,540,000 円	文部科学省 補 ○ 委
耳小骨を用いた骨細管ネットワークの3次元解析	松尾光一	医学部基礎教室	1,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
リボソーム法を用いたIL-15遺伝子導入による膀胱癌治療および再発予防効果	松本一宏	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
キレート硬化型骨セメントをスキヤフォールドとした再生骨の脊椎固定術への応用	松本守雄	医学部臨床教室	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
造血器腫瘍のリプログラミング治療	松木絵里	医学部総合医科学研究センター	2,470,000 円	文部科学省 補 ○ 委
放射線による臓器障害・線維化のメカニズムの解析—HGF投与による放射線障害抑制—	上竹亜記子	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ポリクローナル免疫グロブリンG静脈内投与の心筋虚血再灌流傷害に対する効果	上野耕嗣	医学部臨床教室	2,340,000 円	文部科学省 補 ○ 委
心房細動の細胞基質およびアップストリーム治療	城下晃子(竹下晃子)	医学部	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
樹状細胞を介した心筋虚血再灌流障害に及ぼす14員環マクロライドの影響	城祐輔	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
超高齢期における慢性腎臓病のバイオマーカーと臨床的意義の検討	新井康通	医学部臨床教室	2,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
人工幹細胞ニッチ:造血ニッチ複合体の再構成による幹細胞増幅	新井文用	医学部坂口光洋記念講座	21,060,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒト間葉系幹細胞のピオグリタゾンによる活性化—心筋再生医療での役割	新村大輔	医学部臨床教室	2,470,000 円	文部科学省 補 ○ 委
急性期重症患者疑似モデルにおける高血糖惹起性腸内細菌動態と対応策	森崎浩	医学部臨床教室	3,640,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
βブロッカーは敗血症患者の救命率を高める— 擬似ラットモデルでの検討	森崎浩	医学部臨床教室	1,800,000 円	文部科学省 補 ○ 委
消化管運動障害に対するカハールの介在細胞の 再生医療	森昌玄	医学部臨床教室	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
口腔扁平上皮癌幹細胞の同定と癌血管新生機 序の解明	森川暁	医学部臨床教室	2,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
iPS細胞技術を用いた腫瘍幹細胞のリプログラミ ングによる小児難治性肉腫の治療開発	森川康英	医学部臨床教室	12,350,000 円	文部科学省 補 ○ 委
酸素濃度による角膜幹細胞の分化・増殖制御機 構の解明	榛村重人	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
遺伝子解析による化学放射線治療感受性予測法 の開発～腫瘍細胞を用いた基礎研究～	深田淳一	医学部臨床教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
蛍光蛋白トランスジェニックマウスを利用した神経 新生関連遺伝子の同定	神吉浩明	医学部基礎教室	1,900,000 円	文部科学省 補 ○ 委
耳小骨の骨形成と骨吸収に関する検討	神崎晶	医学部臨床教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
前立腺癌に対する妊孕性保持可能な放射線療法 の開発	菅原章友	医学部臨床教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
神経前駆細胞の運命決定を担う因子の生体レベ ルでの探索と解析	菅田浩司	医学部基礎教室	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
関節リウマチの病態を促進する単球と抑制する単 球の解析	瀬田範行	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
骨髄由来間葉系幹細胞のc-Mycによる発癌モ デル構築と発癌機構解明、その克服	清水孝恒	医学部附属先端医科学 研究所	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
片頭痛におけるASICの役割—片頭痛動物モデ ルを用いた検討	清水利彦	医学部臨床教室	650,000 円	文部科学省 補 ○ 委
神経突起形成におけるオートファジー関連タンパ クAtg8ホモログの機能解析	西山潤	医学部総合医科学研究 センター	1,664,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒルシュスプルング病の神経堤幹細胞移植治療 に必要とされるニッチ因子の研究	西川竜平	医学部総合医科学研究 センター	2,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
育児期の母親の拘束ストレスが母子双方に及ぼ す影響の解析	西村甲	医学部漢方医学セン ター	800,000 円	文部科学省 補 ○ 委
子宮頸癌の免疫逃避機構の解明と免疫療法へ の応用	西尾浩	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
筋萎縮性側索硬化症におけるTDP-43蓄積機 序の解明と治療応用の検討	西本祥仁	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
免疫性血小板減少性紫斑病の新規マウスモデル作製とそれを用いた免疫病態評価	西本哲也	医学部総合医科学研究センター	2,340,000 円	文部科学省 補 ○ 委
抗酸化物質による加齢性難聴の予防 前向きコホートデザインによる栄養疫学研究	西脇祐司	医学部基礎教室	6,500,000 円	文部科学省 補 ○ 委
癌の進展に対して抑制的に作用するヒトモノクローナル抗体の開発	青木大輔	医学部臨床教室	4,550,000 円	文部科学省 補 ○ 委
天疱瘡モノクローナル一本鎖抗体を用いた新規の客観的重症度評価法の開発	石井健	医学部臨床教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
BAC遺伝子導入マウスを用いたStARのミトコンドリア標的シグナルの必要性の解析	石井智弘	医学部臨床教室	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
病原活性を持つ新しいモノクローナル抗体を用いた落葉状天疱瘡水疱形成の解明	石河晃	医学部臨床教室	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
腎細胞癌の発癌、浸潤、転移における芳香族炭化水素受容体発現の意義	石田勝	医学部臨床教室	1,365,000 円	文部科学省 補 ○ 委
子宮内膜症の卵巣明細胞癌、類内膜腺癌への悪性化メカニズムの解析	赤羽智子	医学部臨床教室	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
腫瘍発生のリスクのない多能性幹細胞移植治療の開発の基礎的研究	赤松和土	医学部基礎教室	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
フィラグリン変異マウスを用いた新規アトピー性皮膚炎マウスモデルの作製	川崎洋	医学部総合医科学研究センター	2,470,000 円	文部科学省 補 ○ 委
肺腫瘍凍結治療の局所制御力向上を目指した治療支援シミュレーションシステムの構築	川村雅文	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
損傷修復遺伝子抑制とクロマチン損傷解析による放射線感受性増強法の開発	川田哲也	医学部臨床教室	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
角膜輪部上皮メラノサイトの役割の同定および角膜上皮幹細胞との相互作用の解明	川島素子	医学部臨床教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
神経細胞の分化成熟過程における細胞周期関連タンパク質の役割	川内健史	医学部基礎教室	3,400,000 円	文部科学省 補 ○ 委
個体脳を用いた系統的な経路遮断実験による物流システムの生理的意義と制御機構の解明	川内健史	医学部基礎教室	3,900,000 円	文部科学省 補 ○ 委
大脳皮質形成の神経細胞の移動と形態変化における膜輸送関連分子群の果たす役割	川内健史	医学部基礎教室	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
カロリー制限ラットにおける涙液分泌能維持機構の解明	川北哲也	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
脳神経機能に關与するTPRモチーフタンパク複合体の機能解明	泉山朋大	医学部基礎教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
吸水性ゲルを応用した開胸手術後癒着防止基材の開発	泉陽太郎	医学部臨床教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
哺乳類卵子成熟、減数分裂過程における卵子特異的リンカーヒストンの関与	浅井哲	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
子宮内膜症の慢性疼痛発症における疼痛関連遺伝子の解析と新規疼痛関連分子の探索	浅田弘法	医学部臨床教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
難治性炎症性肺疾患の病態におけるPGD2/C RTH2経路を介した免疫制御機構	浅野浩一郎	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
拡張型心筋症の病態生理の解明—CD45シグナリングの心室リモデリングへの関与	前川裕一郎	医学部寄附講座	2,340,000 円	文部科学省 補 ○ 委
D—セリン/ラセメース系による形態形成調節機序の包括的検討	相磯貞和	医学部基礎教室	17,940,000 円	文部科学省 補 ○ 委
肺癌治療戦略におけるヘパリンとNF-κB阻害剤の役割と抗癌剤増強作用に関する検討	相浦浩一	医学部中央診療施設等	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ABCトランスポーターにおけるNBDエンジンの動作メカニズムの解明	相馬義郎	医学部基礎教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
致死性不整脈の分子生物学的、電気生理学的検討	相澤義泰	医学部臨床教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ラミニン5欠損ヒト皮膚を用いた基底膜構成成分の生体内相互作用の免疫電顕的解析	増永卓司	医学部	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
腫瘍浸潤筋線維芽細胞による癌幹細胞stemness維持機構に関する研究	足立雅之	医学部寄附講座	2,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
メタボリックシンドロームにおける反応性低分子による蛋白質翻訳後修飾の解析	足立健	医学部基礎教室	4,940,000 円	文部科学省 補 ○ 委
慢性筋性顎関節症のセロトニン機能異常による中枢痛覚過敏化と下行性抑制系不全の関与	村岡渡	医学部臨床教室	780,000 円	文部科学省 補 ○ 委
喫煙による涙腺・眼表面ダメージのメカニズム解明	村戸ドール	医学部	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
自作ゲノムアレイによる癌関連遺伝子群の抽出と診断法の確立	村山裕治	医学部基礎教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
抗血小板薬の薬効モニタリングのための新しい指標の探索	村田満	医学部中央診療施設等	11,440,000 円	文部科学省 補 ○ 委
微小環境と臓器特異的転移に着目した腎細胞癌の発がん・進展のメカニズムの解明	大家基嗣	医学部臨床教室	7,410,000 円	文部科学省 補 ○ 委
前立腺癌小線源治療における尿道線量リアルタイムモニタリングと有害事象の予測	大橋俊夫	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
移動終了後の大脳皮質ニューロンにおける分化・成熟過程の解明	大石康二	医学部基礎教室	2,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
インジウム曝露作業者の呼吸器障害に関するコホート研究	大前和幸	医学部基礎教室	10,660,000 円	文部科学省 補 ○ 委
樹状細胞が分泌する新規神経幹細胞増殖因子の機能解析	大多茂樹	医学部総合医科学研究センター	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
皮膚樹状細胞の形態および接着分子の解析	大内健嗣	医学部臨床教室	2,470,000 円	文部科学省 補 ○ 委
認知症患者における後見制度鑑定に必要な臨床検査の検討, 付随する制度的問題点の検討	大平雅之	医学部臨床教室	100,000 円	文部科学省 補 ○ 委
Semaphorin3A阻害薬による角膜の神経再生	大本雅弘	医学部総合医科学研究センター	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
子宮頸部腺癌に対する抗腫瘍ペプチドの開発	大野暁子	医学部総合医科学研究センター	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
誘導多能性幹細胞由来の心筋細胞分化誘導法の確立および心不全治療への応用	大野洋平	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
小胞体ストレスと間質性肺炎	滝原崇久	医学部臨床教室	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
がん微小環境における間質細胞・間葉系幹細胞による免疫抑制機構の解明と克服法の開発	谷口智憲	医学部総合医科学研究センター	1,391,000 円	文部科学省 補 ○ 委
がんのメタボローム解析に基づく抗がん剤反応性予測の新戦略	谷川原祐介	医学部中央診療施設等	5,100,000 円	文部科学省 補 ○ 委
抗がん剤反応性の個体差解明とバイオマーカー開発をめざしたプロテオーム解析	谷川原祐介	医学部中央診療施設等	6,240,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒト赤血球代謝応答の大規模数理モデルによる予測と網羅的代謝解析による実証	谷内江綾子	医学部基礎教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
骨を中心としたネットワーク医学の統合的理解	竹田秀	医学部寄附講座	28,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
神経-骨のネットワークに注目した中枢性骨代謝制御機構の解析	竹田秀	医学部寄附講座	5,850,000 円	文部科学省 補 ○ 委
わが国のバイオセキュリティ・バイオディフェンス準備・対応策策定についての医学・人文社会科学融合研究	竹内勲	医学部基礎教室	30,500,000 円	文部科学省 補 ○ 委
CD103分子を介した多様な機能発現に關与するシグナル伝達経路の解析	竹内勲	医学部基礎教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
食道癌におけるケモカインネットワークを標的とした新しい癌治療法の開発	竹内裕也	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
多発性硬化症における髄鞘再生不良因子TIP30発現誘導機構の解明	中原仁	医学部総合医科学研究センター	1,365,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒト間葉系幹細胞の水溶性スタチンによる活性化—心臓再生医療での役割	中溝ひかる	医学部臨床教室	2,470,000 円	文部科学省 補 ○ 委
骨軟部腫瘍におけるCD44およびADAM17の発現および機能解析	中山タラント ロバート	医学部	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
間葉系幹細胞—光硬化型ゼラチン複合体を用いた新規組織再生療法の確立	中川種昭	医学部臨床教室	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
光とRIの二重標識物質により癌関連遺伝子の移動と局在をイメージングする方法の開発	中村佳代子	医学部臨床教室	910,000 円	文部科学省 補 ○ 委
脊髄損傷に対する人工多能性幹細胞由来神経幹細胞移植の確立	中村雅也	医学部臨床教室	4,420,000 円	文部科学省 補 ○ 委
拡散強調MRスペクトラムによるCRPSモデルでの末梢浮腫発生メカニズムの解明	中村俊康	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
脱ユビキチン化酵素によるDNA損傷応答抑制機構の解明	中田慎一郎	医学部総合医科学研究センター	1,443,000 円	文部科学省 補 ○ 委
FG視覚センサーによるCOPD患者に対する非侵襲的運動負荷検査法の確立	仲村秀俊	医学部	910,000 円	文部科学省 補 ○ 委
大脳皮質神経細胞の配置制御	仲嶋一範	医学部基礎教室	4,000,000 円	文部科学省 補 ○ 委
神経細胞の分化度に応じて異なる機能を担う受容体メカニズム	仲嶋一範	医学部基礎教室	3,000,000 円	文部科学省 補 ○ 委
中枢神経系における神経細胞社会の構築機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	11,700,000 円	文部科学省 補 ○ 委
抑制性神経細胞の大脳皮質内への分配の制御機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	1,100,000 円	文部科学省 補 ○ 委
COUP-TFI及びIIを標的とした神経幹細胞の時間特異性制御機構の解明	仲勇人	医学部基礎教室	3,250,000 円	文部科学省 補 ○ 委
義足を用いた片麻痺歩行訓練の効果に関する研究	長谷公隆	医学部臨床教室	2,990,000 円	文部科学省 補 ○ 委
DDAH2過剰発現マウスの隣NO、インスリン分泌上昇による糖尿病改善効果の検討	長谷川一宏	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
先天性甲状腺機能低下症の分子遺伝学的発現順序および病態生理の解明	長谷川奉延	医学部臨床教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
マウス板間静脈の発達における骨代謝と血管新生の相関	鳥海春樹	医学部総合医科学研究センター	1,313,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
先天性肝内胆汁うっ滞症の包括的遺伝子診断システムの構築	鳥居千春	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
メロニダゾール耐性H. pyloriの酸化ストレス感受性異常の分子機序	津川仁	医学部総合医科学研究センター	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
有効な腫瘍マーカーのない婦人科悪性腫瘍に対する新しい腫瘍マーカーの確立	津田浩史	医学部臨床教室	2,200,000 円	文部科学省 補 ○ 委
体細胞由来人工多能性幹細胞(iPS細胞)を用いた脊髄損傷治療	辻取彦	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
椎間板変性に対する脊索性髄核の役割	辻崇	医学部臨床教室	780,000 円	文部科学省 補 ○ 委
リンパ浮腫に対する治療効果と生理学的機序に関する研究	辻哲也	医学部臨床教室	650,000 円	文部科学省 補 ○ 委
IP3受容体およびムスカリニック受容体欠損マウスを用いた涙液分泌機構	坪田一男	医学部臨床教室	1,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
天疱瘡抗原に対する中枢性、末梢性免疫寛容機構の解明	天谷雅行	医学部臨床教室	56,420,000 円	文部科学省 補 ○ 委
小児PCOS診断におけるLC-MS/MS唾液中ステロイドホルモン一斉分析の有用性	天野直子	医学部臨床教室	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
未分化型精原細胞特異的遺伝子ネットワークによる幹細胞維持機構の解明	田久保圭誉	医学部坂口光洋記念講座	3,200,000 円	文部科学省 補 ○ 委
HIF-1/VHL制御系による造血幹細胞維持機構の解明と幹細胞増幅	田久保圭誉	医学部坂口光洋記念講座	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
急性呼吸不全における低酸素反応性因子の役割に関する研究	田坂定智	医学部臨床教室	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
paclitaxel封入EGF結合MPC polymerによる膀胱癌治療効果	田村高越	医学部臨床教室	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
哺乳類初期発生におけるリンカーヒストンとクロマチンのエピジェネティクス機構の解明	田中守	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
マーモセット大脳皮質における抑制性神経細胞の移動経路・様式の解明	田中大介	医学部基礎教室	650,000 円	文部科学省 補 ○ 委
多能性幹細胞の心室筋・心房筋分化メカニズムの解析	田中智文	医学部	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
発生過程の大脳皮質において、脳室下帯が形成される意義	田畑秀典	医学部基礎教室	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
HMGB-1制御による劇症肝不全に対する新治療法の開発	田辺稔	医学部	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
神経伝達物質による樹状突起電位依存性チャネル制御の薬理学的解析	塗谷睦生	医学部基礎教室	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
内因性 I 型インターフェロン産生細胞を介した漢方薬の感染防御機構の研究	渡辺賢治	医学部漢方医学センター	4,420,000 円	文部科学省 補 ○ 委
生体内エネルギー代謝恒常性調節機構解明によるメタボリック症候群へのアプローチ	渡辺光博	医学部寄附講座	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
呼吸器外科疾患の早期診断を目指した気道上皮被覆液の生化学的およびプロテオーム解析	渡辺真純	医学部臨床教室	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
腰椎部傍脊柱筋の手術侵襲に起因する筋変性・再生に関する組織学的検討	渡邊航太	医学部寄附講座	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒト造血化したマウスにおける白血病幹細胞ニッチ解析	嶋晴子	医学部臨床教室	2,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
経頭蓋直流電気刺激の脳卒中片麻痺上肢リハビリテーションへの応用	藤原俊之	医学部臨床教室	780,000 円	文部科学省 補 ○ 委
子宮癌での上皮-間葉転換による免疫抑制環境構築の分子機構解明とその臨床応用	藤田知信	医学部附属先端医学科学研究所	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
若年性心臓突然死の国際比較II-Brugada症候群との関連性	藤田真幸	医学部基礎教室	5,460,000 円	文部科学省 補 ○ 委
侵襲病態下における生体内細胞環境変動の解明と、これに基づく新規予防、治療法開発	藤島清太郎	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
心臓・大血管発生におけるイノシトール三リン酸受容体の組織特異的機能の解明	内田敬子	医学部	2,340,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒト着床におけるカドヘリンを介した子宮内膜上皮細胞層の再構築機序の解明	内田浩	医学部臨床教室	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
発達段階特異的なアドリアマイシン投与によるVA-TER連合発症機構の解明	内藤陽子	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
角膜内皮不全が角膜上皮幹細胞疲弊症を来すメカニズムの解明	内野裕一	医学部臨床教室	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
非接着培養によるヒト線維芽細胞の毛包誘導	二宮瑠加	医学部	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
インターロイキン32の炎症性関節炎における役割と治療標的分子としての可能性	二木康夫	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
腸管マクロファージの免疫恒常性維持への寄与とクローン病におけるその破綻機序の解明	日比紀文	医学部臨床教室	19,630,000 円	文部科学省 補 ○ 委
破骨細胞分化における抑制性シグナル因子の機能解析	日方智宏	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
肝内免疫細胞を標的とした糖尿病、メタボリックシンドローム治療法の開発	入江潤一郎	医学部寄附講座	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
食道扁平上皮癌におけるケモカインレセプター発現と臓器特異性転移機構の解明	入野誠之	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
内在性電場変化による間葉系幹細胞のInVivo遊走制御	馬淵洋	医学部寄附講座	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
胃癌における分子標的治療薬と放射線併用療法	白石悠	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
がん細胞浸潤突起の形成と退縮の分子機構	白壁恭子	医学部	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
破骨細胞分化制御におけるRANK ectodomain sheddingの役割	箱崎彰裕	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
研究者と公衆の間に存在するiPS細胞に対する認識の差異の研究	八代嘉美	医学部総合医科学研究センター	1,391,000 円	文部科学省 補 ○ 委
神経系の新しいサイトカインCbinファミリー分子の機能解析	飯島崇利	医学部総合医科学研究センター	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
角膜輪部上皮のニッチにおけるエヌカドヘリンの役割	比嘉一成	医学部	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
胎内プログラミングによる腎发育異常におけるmTOR経路の役割	飛弾麻里子	医学部	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
消化器癌における癌幹細胞の同定、分離および生物学的特性の解析	樋口肇	医学部臨床教室	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
緑内障性視神経症におけるsuperoxide dismutase1の関与	尾関直毅	医学部臨床教室	2,730,000 円	文部科学省 補 ○ 委
卵特異的新規遺伝子と「正常な卵」を規定する遺伝子ネットワーク	浜谷敏生	医学部臨床教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
脂肪肝炎病態における、肝インスリン抵抗性・酸化ストレスparadoxの解明	富田謙吾	医学部臨床教室	910,000 円	文部科学省 補 ○ 委
マウス局所脳虚血モデルへの神経堤由来細胞移植の効果の検討	富田裕	医学部寄附講座	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
ヒト悪性脳腫瘍癌幹細胞におけるMusashi1の機能制御の解析と抗腫瘍効果の解明	武藤淳	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
地域在住高齢者の視覚障害予防:追跡研究による死亡及び介護状態との関連	武林亨	医学部基礎教室	6,760,000 円	文部科学省 補 ○ 委
マーマセットES細胞由来心筋細胞のシート作製と移植	服部文幸	医学部	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
疾患モデル動物を用いた病態解明と革新的治療法の開発	福田恵一	医学部坂口光洋記念講座	20,000,000 円	文部科学省 補 ○ 委
心不全における交感神経機能の可塑性に関する研究	福田恵一	医学部坂口光洋記念講座	19,630,000 円	文部科学省 補 ○ 委
NASHの発症機序に於けるHIF-1の関与	福田亮	医学部基礎教室	2,000,000 円	文部科学省 補 ○ 委
iPS技術を応用した人工癌幹細胞(iCaPS細胞)の樹立及び機能解析	福田和正	医学部臨床教室	2,340,000 円	文部科学省 補 ○ 委
温度感受性ナノ磁性体を用いたセンチネルリンパ節の診断と温熱療法の開発	平岩訓彦	医学部臨床教室	780,000 円	文部科学省 補 ○ 委
筋炎特異自己抗体の病因的・臨床的意義と病態形成機序の解明	平形道人	医学部医学教育統轄センター	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
SOD1欠損マウスの加齢黄斑変性病態における網膜色素上皮細胞の上皮間葉移行	平沢学	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
子宮体癌における統合的ゲノム解析ならびにマイクロRNA解析による分子機構の解明	平沢晃	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
自己細胞由来の生理活性物質を利用した内在性神経幹細胞の活性化と神経再生誘導	並木淳	医学部臨床教室	910,000 円	文部科学省 補 ○ 委
レドックス応答の制御機構の解明	片山隆晴	医学部臨床教室	1,040,000 円	文部科学省 補 ○ 委
胎児副腎の構造的・機能的リモデリングにおける神経細胞接着因子NCAMの役割	峰岸一宏	医学部臨床教室	1,300,000 円	文部科学省 補 ○ 委
アポトーシス細胞貪食の肺気腫病態への関与の検討	峰松直人	医学部臨床教室	2,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
バイオイメージングを用いた癌細胞由来ADAM28の生体内機能解析	望月早月	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	文部科学省 補 ○ 委
霊長類脊髄損傷に対するHGFの有効性および治療法の確立	北村和也	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
最適化された細胞外環境を用いた心筋細胞移植法の確立	牧野伸司	医学部総合医科学研究センター	8,060,000 円	文部科学省 補 ○ 委
TACEの骨代謝・造血系における機能解析	堀内圭輔	医学部総合医科学研究センター	4,550,000 円	文部科学省 補 ○ 委
悪性腫瘍における酸素代謝の解析と腫瘍酸素加による治療効果増強機構の解明	堀之内宏久	医学部臨床教室	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
移植に適したヒトES・iPS細胞由来内皮作成と腎不全進行に対する新規治療法の開発	本間康一郎	医学部臨床教室	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
Reelin-Dab1シグナルによる樹状突起の形成とガイダンス機構の解明	本田岳夫	医学部基礎教室	1,560,000 円	文部科学省 補 〇 委
卵子の遺伝子発現プロファイリング解析に基づく抗加齢生殖研究	末岡浩	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 〇 委
In vivoヒト代謝システム生物学拠点	末松誠	医学部基礎教室	296,452,000 円	文部科学省 補 〇 委
「次世代生命体統合シミュレーションソフトウェアの研究開発」(系統的分子探索に立脚した細胞シミュレーション開発による臓器代謝モデル構築)	末松誠	医学部基礎教室	53,350,000 円	文部科学省 補 委 〇
ガス分子を介した新しい生体制御機構の学際的アプローチによる解明と医学への応用	末松誠	医学部基礎教室	64,350,000 円	文部科学省 補 〇 委
クロマチンリモデリング因子の神経細胞増殖に対する役割解明	味岡逸樹	医学部総合医科学研究センター	1,443,000 円	文部科学省 補 〇 委
げっ歯類および霊長類脊髄損傷に対する神経堤幹細胞移植治療の確立	名越慈人	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 〇 委
甲状腺発生異常におけるゲノムワイドCopy Number Variation解析	鳴海覚志	医学部臨床教室	2,210,000 円	文部科学省 補 〇 委
生体内反応で発生する代謝活性ラジカルを利用した低酸素細胞増感剤の開発と臨床応用	茂松直之	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 〇 委
マウス腸間膜に新たに見出したT前駆細胞を含むリンパ集積の機能解析	茂呂和世	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	文部科学省 補 〇 委
脳波一筋電図コヒーレンスの運動調節における意義	木村彰男	月が瀬リハビリテーションセンター	650,000 円	文部科学省 補 〇 委
心臓腱索に特異的発現の見られる血管新生抑制因子テノモジュリンの機能解析	木村成卓	医学部臨床教室	1,820,000 円	文部科学省 補 〇 委
軟骨下骨組織の改築とRECK分子に着目したヒト変形性関節症の病態解析	木村徳宏	医学部基礎教室	1,820,000 円	文部科学省 補 〇 委
尿細管再生機構の解明とES細胞、iPS細胞から尿細管細胞への分化誘導の試み	門川俊明	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 〇 委
肺腺癌のPET診断のための18F-Acetateの合成精製と基礎的研究	野守裕明	医学部臨床教室	6,500,000 円	文部科学省 補 〇 委
卵巣癌腹膜播種形成において糖鎖が果たす役割の解明と分子標的治療への応用	野村弘行	医学部臨床教室	1,560,000 円	文部科学省 補 〇 委
糖尿病網膜症モデルにおける白血球接着分子LFA-1, Mac-1の機能解析	野田航介	医学部臨床教室	780,000 円	文部科学省 補 〇 委
siRNAを利用した子宮体癌治療と分子イメージングによるその効果判定	矢野倉恵	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 〇 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
読字障害の責任遺伝子の特定:Williams症候群をモデルとして	柳橋達彦	医学部臨床教室	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
低酸素性虚血性脳症における神経細胞の樹状突起に発現する電位依存性チャネルの制御	有光威志	医学部総合医科学研究センター	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
癌抑制遺伝子Rbの上皮細胞における機能と癌の浸潤・転移機構の解析	有馬好美	医学部附属先端医科学研究所	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委
成熟脳におけるシナプス可塑性機構の解析と制御—2つの新しいツールを用いて	柚崎通介	医学部基礎教室	4,500,000 円	文部科学省 補 ○ 委
神経細胞樹状突起へのAMPA受容体トランスポートソームの特異的輸送機構	柚崎通介	医学部基礎教室	4,100,000 円	文部科学省 補 ○ 委
神経細胞間で機能する新しい分泌性C1qファミリー分子群の解析	柚崎通介	医学部基礎教室	3,800,000 円	文部科学省 補 ○ 委
成熟脳におけるシナプス維持と記憶の形成—新しい順行性シグナルの解明	柚崎通介	医学部基礎教室	10,400,000 円	文部科学省 補 ○ 委
NURR1が関与するパーキンソン病発症機序におけるSGSMファミリーの役割の解明	楊浩	医学部基礎教室	3,120,000 円	文部科学省 補 ○ 委
「日本の特長を活かしたBMIの統合的研究開発」(ブレイン・マシン・インターフェースの臨床応用を目指した医工連携プロジェクト—「機能代償システム」から「治療システム」へ—)	里宇明元	医学部臨床教室	38,000,000 円	文部科学省 補 ○ 委
機能代替と回復のための非侵襲BMIの開発	里宇明元	医学部臨床教室	400,255,000 円	文部科学省 補 ○ 委
慢性腎臓病進展におけるTRPC6、NFκB、NFATの分子連関の役割の解明	林松彦	医学部中央診療施設等	1,560,000 円	文部科学省 補 ○ 委
水素の抗酸化作用による心筋虚血再灌流障害抑制効果の検討	林田健太郎	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
新規EMT誘導因子HOXB9による乳癌悪性化および癌幹細胞群増加メカニズムの検証	林田哲	医学部寄附講座	3,250,000 円	文部科学省 補 ○ 委
慢性期脳梗塞の病態におけるStat3リン酸化の意義	鈴木重明	医学部臨床教室	1,170,000 円	文部科学省 補 ○ 委
婦人科癌転移の糖鎖機能解析と認識糖鎖抗原に対する新規ヒトモノクローナル抗体の開発	鈴木淳	医学部臨床教室	1,950,000 円	文部科学省 補 ○ 委
プロテオーム解析による抗がん剤反応性関連タンパク質の解明とバイオマーカーへの応用	鈴木小夜	医学部中央診療施設等	2,080,000 円	文部科学省 補 ○ 委
敗血症に対するニカラベン投与の臓器保護効果	鈴木武志	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
Aireによる天疱瘡標的抗原に対する免疫寛容機序の解明	和田直子	医学部総合医科学研究センター	2,210,000 円	文部科学省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又委託元
女性慢性筋性顎関節症患者における中枢性筋収縮抑制不全と下行抑制系機能不全の検証	和嶋浩一	医学部臨床教室	2,340,000 円	文部科学省 補 ○ 委
哺乳類動物におけるAPC活性化因子cdh1による多倍体化制御機構とその意義の解明	國仲慎治	医学部附属先端医科学研究所	3,200,000 円	文部科学省 補 ○ 委
APC活性化因子cdh1を介した細胞移動・浸潤制御の可能性に関する研究	國仲慎治	医学部附属先端医科学研究所	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
メダカ心室筋形成不全突然変異体を用いた心臓発生の究明	伊誠漢	医学部総合医科学研究センター	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
臓器移植におけるB細胞制御による免疫寛容の誘導	淵本康史	医学部臨床教室	1,690,000 円	文部科学省 補 ○ 委
種々の生体適合性ゲル化物質を足場材料に用いたマウス肺組織移植モデル	澤藤誠	医学部	1,430,000 円	文部科学省 補 ○ 委
Piwi-piRNA複合体による生殖幹細胞維持とクロマチン制御の分子接点	齋藤都暁	医学部基礎教室	3,200,000 円	文部科学省 補 ○ 委
生殖細胞特異的piRNAの生合成機構	齋藤都暁	医学部基礎教室	2,600,000 円	文部科学省 補 ○ 委
炎症性腸疾患の自然免疫から獲得免疫異常への連鎖におけるIL-23の役割	齋藤理子	医学部総合医科学研究センター	2,860,000 円	文部科学省 補 ○ 委